

三重大学 教育学部



<http://www.edu.mie-u.ac.jp/>

教育学部HP携帯サイト



教育学部イメージ動画



三重大学 教育学部

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

TEL. 059-232-1211(代)

<http://www.edu.mie-u.ac.jp/>



2019
学部案内

教育学部へようこそ



教育学部では、たくさんの分野を用意して、教員を志望する皆さんをお待ちしております。



国語教育コース

P.08

- 国語学(日本語学)
- 国文学
- 書道
- 国語教育学
- 日本語教育



社会科教育コース

P.09

- 社会科学(政治学、経済学)
- 歴史学(日本史学、東洋史学)
- 地理学(人文地理学、自然地理学)
- 哲学・倫理学(哲学)
- 社会科教育学(地歴科教育)



数学教育・情報教育コース 数学教育専攻

P.10

- 代数学
- 解析学
- 幾何学
- 応用数学
- 数学教育学



数学教育・情報教育コース 情報教育専攻

P.11

- コンピュータの基礎と応用
- 情報技術の基礎と応用
- 情報通信ネットワーク
- 情報社会



理科教育コース

P.12

- 物理学
- 化学
- 生物学
- 地学
- 理科教育



音楽教育コース

P.13

- 音楽教育学
- 作曲・音楽理論
- 器楽(ピアノ)
- 声楽



美術教育コース

P.14

- 絵画
- 彫刻
- デザイン
- 美術理論・美術史
- 美術教育



保健体育コース

P.15

- 保健体育科教育学分野
- 体育・スポーツ学分野
- 運動学分野
- 学校保健分野



技術・ものづくり教育コース

P.16

- 技術科教育法
- 電気
- 材料と加工
- 生物育成
- 機械
- 情報



家政教育コース

P.17

- 家庭科教育
- 食物学
- 家庭経営学
- 住居学
- 被服学
- 保育学



英語教育コース

P.18

- 英語学
- 英米文学
- 英語教育
- 異文化理解



特別支援教育コース

P.19

- 教育学
- 医学
- 心理学



幼児教育コース

P.20

- 幼児教育学
- 幼児心理学
- 保育内容研究



学校教育コース 教育学専攻

P.21

- 教育哲学
- 教育方法学



学校教育コース 教育心理学専攻

P.22

- 発達臨床心理学
- 学習心理学
- 社会心理学
- 認知発達心理学



CONTENTS

教育学部が育てる人物像

P.02

アドミッション・ポリシー
ディプロマ・ポリシー

P.04

入試情報

P.06

教育学部の5つの強さ
教育学部の5つの特徴

P.02

三重大学教育学部での
修学の流れ

P.05

コース紹介

P.08

附属教職支援センター

P.23

Questions & Answers

P.27

活躍する卒業生の声

P.30

進路状況

P.24

コース別の進路状況

P.28

アクセス&キャンパスマップ

P.32

教育学部が育てる人物像

21世紀、子どもたちを取り巻く環境は大きく変わってきており、教師は教育現場で様々な問題に柔軟に対応する能力が求められています。三重大学教育学部では、地域と密接な連携を取りつつ、総合的な豊かな見識、感性、国際性、高度な専門的学識を身につけられるようにしていきます。また、様々な教育問題、教育環境の変化に適切に対応できる創造性と問題解決能力を培い、力強くリーダーシップの取れる人材をPBL(問題／課題解決型学習)等を通じて養成していきます。

教育学部の5つの強さ

就職率が高い!

学校教育教員養成課程の平成28年度(平成29年3月卒業)卒業生における教員採用率は75.0%*で、卒業生全体では、就職希望者の98%以上が就職しています。

*大学院進学者と保育士を母数から除いた率

専門教育に強い!

教科別コース制になっているため、各専門教員による質の高い指導を受けることができ、教科に関する高い専門能力を養うことができます。

教育実践力を高める!

1年次から学校現場に触れ、子ども理解を深め、学校教育活動を体験する教育実地研究に参加することによって、今後の教員に求められている教育実践力を身につけることができます。

地域との連携をはかる!

教育学部に隣接する学校園と連携して、学力向上・理科実験・体育活動・食教育等に関する教育活動を支援することを通して、学生の幅広い教育力の向上に努めています。

国際展開をはかる!

学校現場に多くの外国人が通学する地域の特徴に因るため、本学部では特に英語や中国語に強い国際的な視野を持つ教員の養成をめざし、天津師範大学(中国)やオークランド大学(ニュージーランド)をはじめ多くの海外大学での語学・文化研修への参加や、交換留学の機会を提供しています。

教育学部の5つの特徴

増加する教員の正規採用

学校教員養成課程の平成28年度(平成29年3月卒業)卒業生における教員採用率は75.0%*です。近年、本学部の教員採用率は、正規採用においても向上を続けており、平成18年度から連続して上昇傾向を示しています。また、教育学部全体としても就職に強く、平成29年3月に卒業した学生の就職希望者の98%以上の学生が就職しています。

幅広い専門性と複数免許の取得

教育学部には、国語教育、社会科教育、数学教育・情報教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術・ものづくり教育、家政教育、英語教育、特別支援教育、幼児教育、学校教育といった多様なコースがあります。13のコースのうちいずれかに所属して学び、今日の学校現場で各教科を指導するための専門的な知識を得ることができます。4年間を通じて幅広い専門性を身につけられますので、複数の校種や教科の教員免許状を得ることも可能です。

教育実践力を育成するカリキュラム

教科及び教職に関する専門的科目の学習以外にも、学校現場での実地的な学習と省察を通して、実践的な教育力を身につけることが求められています。そのために、1年次の必修科目である「教育実地研究基礎」を始めとして、4年間を通じた系統的な学校現場体験及び教育実習によって、教育現場に通用する教育実践力を、計画的に身につけるカリキュラムが用意されています。

地域の学校・社会との連携

教育学部の北に隣接する一身田校区の5校園(白塚幼、栗真小、白塚小、一身田小、一身田中)及び南に隣接する橋北校区の6校園(北立誠幼、南立誠幼、北立誠小、南立誠小、西が丘小、橋北中)と連携して、各学校園の教育活動を支援するとともに、学生の教育実践力の育成をはかる取り組みが平成18年度から進められています。その活動は、学習支援・理科実験・体育活動・幼児教育支援・食教育・音楽祭など多岐にわたっていて、学部の教員養成に大きく貢献しています。

国際的教育環境の充実

国語教育コースでは、日本語教育に関する科目も開講し、日本語を母語としない人たちへの日本語教育の基礎力を持った人材を育成します。また、本学部では、海外の大学と提携して国際的な視野をもつ教員養成に力を入れています。天津師範大学やオークランド大学の研修プログラムには、毎年多くの学生が参加しています。さらに遠隔通信システムを利用した異文化コミュニケーション能力の育成など、様々な実践的な取組を行っています。

TOPICS

生きた教育を経験する教育実習

教育学部には、教育・研究・実践の補完施設として、4つの附属学校園(幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校)と、附属教職支援センターがあります。3、4年次の教育実習は、主として4つの附属学校園で行われます。教育実習は、授業への取り組み方・教師観・保護者観などの、それまでの学習成果について、再検討や反省をする貴重な体験です。そして、生きた教育の場で得られる多くの経験は、「教師になる」ということを再認識させ、勉学へのモチベーションを高める機会でもあります。



アドミッション・ポリシー／ディプロマ・ポリシー

このような人を求めます

- 子どもの発達や心理、教育環境(学校・地域・社会)に関心を持ち、情熱を持って教育にあたらうという意欲のある人。
- 総合的な基礎学力を有し、教育課題に対する専門性を高めようと努める人。
- 教育問題に対して関心を持ち、その解決に協同で粘り強くあたるとともに、コミュニケーション力を磨こうとする人。
- 自分の成長を振り返り、自己決定のもとに、よりよい学びを創りだそうと努める人。

このような人を育てます

- 教育をめぐる現実的課題について、専門的知識に基づいて適切な対応を考えることができる。
- 教育に関する課題を意識した実践を企画・運営し、関係者と協力して問題解決に取り組むことができる。
- 教育に関わる職業人に求められる使命感・責任感を持ち、異文化、多世代の人と連携・協力することができる。
- 自律的な学習者として、主体的に学び、振り返ることができる。

入学者選抜方針

一般入試前期日程

学校教育教員養成課程を専攻する学生を得るに当たり、総合的な基礎学力を有する者を求めます。大学入試センター試験及び個別学力検査等を課し、前者において総合的基礎学力を、後者においてはそれぞれのコースごとに特定の教科・科目の学力を重視した選抜を実施します。

一般入試後期日程

志願する課程・コースへの基礎学力を有し、かつ明確な適性と学習意欲を有する者を求めます。大学入試センター試験、さらに個別学力検査・小論文等を課し、各コースへの適性と基礎学力を審査します。

推薦入試 大学入試センター 試験を課さない 【推薦Ⅰ】

募集する学校教育教員養成課程[技術・ものづくり教育コース(中等教育選修)、学校教育コース(教育学専攻・教育心理学専攻)]における勉学に強い熱意と探究心を有し、志望する分野に積極的に取り組む意欲的・主体的な学生を求めます。募集している各分野の専門的知識と幅広い基礎学力を重視した選抜を実施します。

推薦入試 大学入試センター 試験を課す 【推薦Ⅱ】

募集する学校教育教員養成課程[理科教育コース(初等教育選修)、家政教育コース(初等教育選修)]における勉学に強い熱意と探究心を有し、志望する分野に積極的に取り組む意欲的・主体的な学生を求めます。大学入試センター試験を課し、募集している分野の専門的知識と幅広い基礎学力を重視した選抜を実施します。

推薦入試 大学入試センター 試験を課す 【地域推薦】

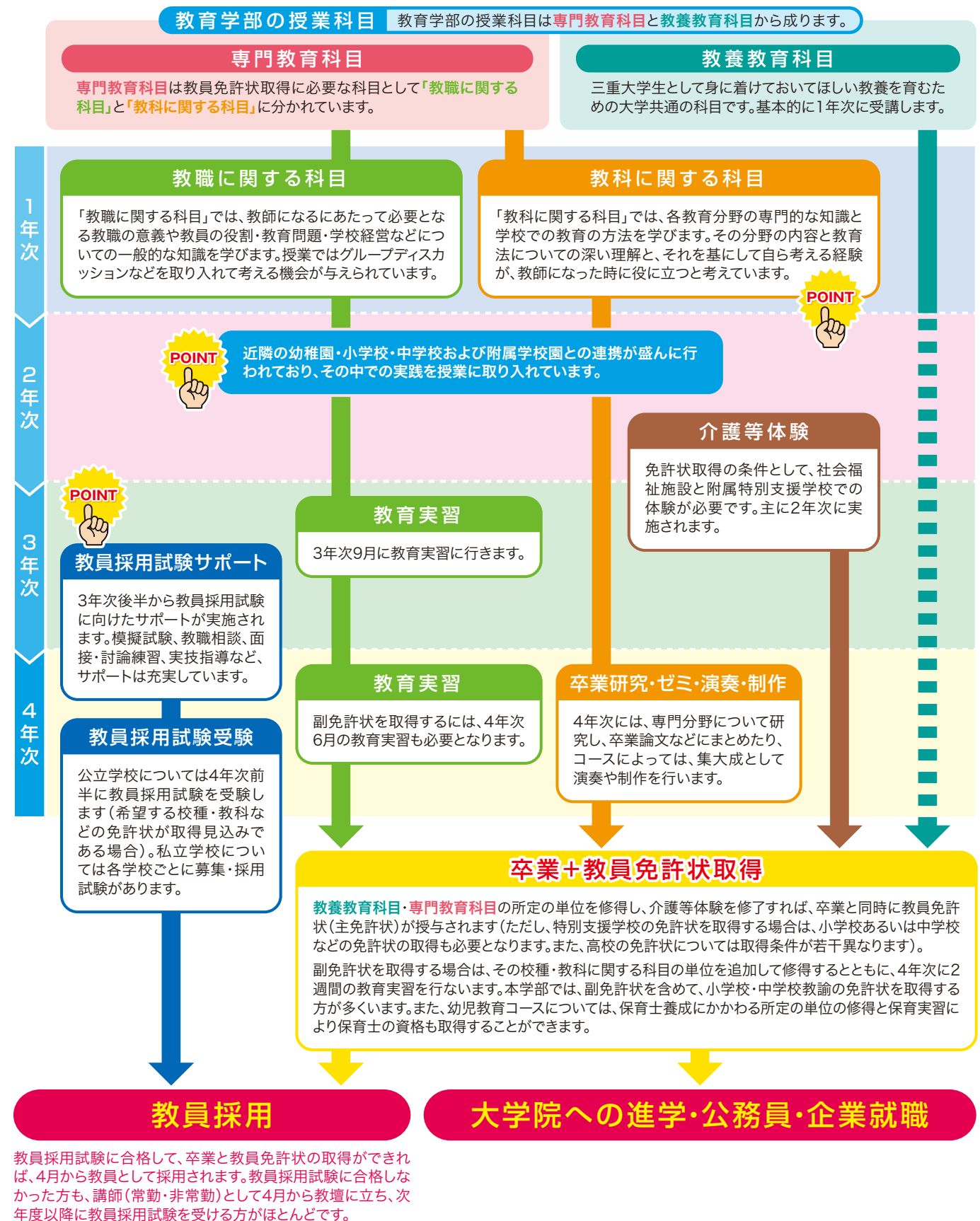
募集する学校教育教員養成課程[国語教育、社会科教育、数学教育・情報教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術・ものづくり教育、家政教育、英語教育の各コースの初等教育選修および学校教育コース(教育学専攻、教育心理学専攻)]における勉学に強い熱意と探究心を有し、将来、三重県南部地域の小学校教育に貢献する意志を持つ意欲的・主体的な学生を求めます。大学入試センター試験を課し、幅広い基礎学力の有無を問うとともに、人間関係形成能力・コミュニケーション能力・自己表現力等の将来教員となるにふさわしい資質を兼ね備えているかどうかを問う選抜を実施します。

私費外国人留学生 特別入試

日本で積極的に学ぶ熱心な外国人留学生を求めます。一方、十分な勉強熱意に加えて、入学後の生活及び勉学で困難なく成果をあげられるような日本語能力、日本文化への理解が必要です。そのため、学業に直接要される基礎学力を重視しつつ、総合的な選抜を実施します。

三重大学教育学部での修学の流れ

入学時のコース・専攻および選修で免許状の種類が決まります。例えば、国語教育コース・中等選修に入学された方は、卒業時に主に中学校の国語教諭の免許状を取得することができます。ただし、さらに単位を修得することにより例えば小学校の教諭の免許状も取得することができます。前者のように入学時のコース・専攻および選修で決まり、卒業時に取得できる免許状を主免許状といい、後者のように、それ以外の免許状を副免許状といいます。以下に、卒業および免許状取得の流れの概略を説明します(なお、詳細はお問合せください)。



入 試 情 報

平成30年度入学状況

(単位:人)

課 程	学校教育教員養成課程																						
コース	国語教育					社会科教育					数学教育・情報教育 (数学教育専攻)					数学教育・情報教育 (情報教育専攻)			理科教育				
選 修	初等教育			中等教育		初等教育			中等教育		初等教育			中等教育		中等教育			初等教育			中等教育	
日 程	地推	前期	後期	前期	後期	地推	前期	後期	前期	後期	地推	前期	後期	前期	後期	前期	後期	推薦	地推	前期	前期	後期	
募集人数	※	10	3	7	2	※	7	2	5	2	※	8	2	8	2	7	3	4	※	5	9	—	
志願者数	2	28	33	16	18	1	48	46	26	47	0	19	30	33	50	11	39	3	1	20	23	—	
受験者数	2	25	15	15	6	1	44	22	26	18	0	19	13	33	24	11	19	0	1	19	19	—	
合格者数	1	9	3	7	2	1	7	2	5	2	0	9	2	8	2	8	4	0	1	11	9	—	
入学者数	1	9	3	7	2	1	7	2	5	2	0	9	1	8	2	7	3	0	1	11	8	—	

課 程	学校教育教員養成課程																								
コース	音楽教育					美術教育					保健体育					技術・ものづくり教育					家政教育				
選 修	初等教育			中等教育		初等教育			中等教育		初等教育			中等教育		初等教育			中等教育		初等教育		中等教育		
日 程	地推	前期	後期	前期	後期	地推	前期	後期	前期	後期	地推	前期	後期	前期	後期	地推	前期	後期	推薦	前期	推薦	地推	前期	前期	後期
募集人数	※	3	3	3	—	※	5	—	3	—	※	5	3	5	3	※	4	—	1	4	3	※	4	5	—
志願者数	1	10	25	8	—	0	5	—	6	—	0	19	10	28	30	0	21	—	7	13	6	0	32	14	—
受験者数	1	10	10	8	—	0	5	—	6	—	0	19	2	28	17	0	21	—	7	13	6	0	28	14	—
合格者数	0	4	3	3	—	0	6	—	3	—	0	6	3	5	3	0	5	—	1	4	3	0	5	5	—
入学者数	0	4	3	3	—	0	6	—	3	—	0	6	3	5	3	0	5	—	1	4	3	0	5	4	—

課 程	学校教育教員養成課程															教育学部合計				
コース	英語教育					特別支援教育		幼児教育		学校教育 (教育学専攻)			学校教育 (教育心理学専攻)							
選 修	初等教育		中等教育			—		—		—			—							
日 程	地推	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	推薦	地推	前期	推薦	地推	前期	推薦	地推	前期	後期	合計
募集人数	※	5	—	7	—	11	7	10	—	3	※	7	3	※	7	14	※	154	32	200
志願者数	0	12	—	22	—	43	66	38	—	22	0	50	12	0	47	50	5	592	394	1041
受験者数	0	11	—	22	—	43	32	38	—	22	0	49	12	0	46	47	5	572	178	802
合格者数	1	5	—	7	—	12	9	10	—	3	0	8	3	0	8	10	4	169	35	218
入学者数	1	5	—	7	—	10	9	10	—	3	0	6	3	0	8	10	4	162	33	209

注)各コースの志願者数、受験者数は第1志望の集計です。合格者数は正規合格者、入学者数は正規入学者。

平成31年度入学定員

(単位:人)

課 程	学校教育教員養成課程																					
コース	国語教育					社会科教育					数学教育・情報教育 (数学教育専攻)				数学教育・情報教育 (情報教育専攻)			理科教育				
選 修	初等教育		中等教育			初等教育		中等教育			初等教育		中等教育		中等教育			初等教育		中等教育		
日 程	地推	前期	後期	前期	後期	地推	前期	後期	前期	後期	地推	前期	後期	前期	後期	前期	後期	推薦	地推	前期	前期	後期
募集人数	※	10	3	7	2	※	7	2	5	2	※	8	2	8	2	7	3	4	※	5	9	—

課 程	学校教育教員養成課程																								
コース	音楽教育					美術教育					保健体育					技術・ものづくり教育					家政教育				
選 修	初等教育		中等教育			初等教育		中等教育			初等教育		中等教育			初等教育		中等教育			初等教育		中等教育		
日 程	地推	前期	後期	前期	後期	地推	前期	後期	前期	後期	地推	前期	後期	前期	後期	地推	前期	後期	推薦	前期	推薦	地推	前期	前期	後期
募集人数	※	3	3	3	—	※	5	—	3	—	※	5	3	5	3	※	4	—	1	4	3	※	4	5	—

課 程	学校教育教員養成課程																教育学部合計			
コース	英語教育					特別支援教育		幼児教育		学校教育 (教育学専攻)			学校教育 (教育心理学専攻)							
選 修	初等教育		中等教育			—		—		—			—							
日 程	地推	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	推薦	地推	前期	推薦	地推	前期	推薦				
募集人数	※	5	—	7	—	11	7	10	—	3	※	7	3	※	7	14	154	32	200	

注1)募集人数については変更する場合もあります。初等・中等の選修があるコースにおいて、初等のみ、中等のみの選択ができるようになります。

注2)※は地域推薦入試で募集があることを示します。なお合格者は各コース1名以内とし、地域推薦入試で合格者が出た場合は、一般入試前期日程の合格者を充当します。ただし地域推薦入試の合格者は合計で5名以内とします。

先生になる。

なんで先生になるとおもったの？

それはね・・・

Answer



<http://kouhou.edu.mie-u.ac.jp/webpos.html>



学校教育教員養成課程

国語教育コース

募集人員 初等教育選修(前期10名、後期3名)、中等教育選修(前期7名、後期2名)

ことばを知ること、世界を知ること
子どものことばと心を育む教育を追究します

私たちは、ことばで考え、ことばで知り、ことばで感じ、ことばで発信します。国語科は、ことばを学び、ことばを探究する教科です。国語教育コースでは、教員としてそれを実現するための知見が得られます。

学びは、これまでもこれからもことばと切り離せません。幼児期から今までの学びをふりかえり、ことばが果たしてきた役割を考えましょう。あすの国語教育の扉をひらくのは、あなたです。

国語教育コースでは、国語学・国文学(近現代文学および古典文学)・国語教育学・書道について学びます。2016年度からは、日本語を母語としない人を対象とした日本語教育も学べます。小学校一種・二種、中学校一種・二種(国語)、高等学校一種(国語)免許を得られます。必要な単位を取得すれば、幼稚園一種・学校図書館司書教諭の免許を取ることもできます。

国語学(日本語学)【日本語の文法、語彙、表記、音声、アクセント、方言】

「元気に働く」と「元気で働く」の違いは?「隣の客は良く柿食う客だ」等の早口ことばは、どうして言いにくいのか?日常的な具体例を挙げつつ、言語分析の方法を身につけ、現代日本語の特徴について考察を深めます。

国語教育学

子どもと教員と教材の一期一会の切り結びが、わたしたちの学びの場です。国語科とは何をどのように学ぶ教科なのか、小学校、中学校、高校の授業を実際に見て考えます。子どもも教員も成長できる授業をめざします。

日本語教育

日本語教育の基礎知識を学び、日本語教授法や言語習得、日本の文化・社会や異文化への理解を深めます。



書道の授業



小学校での授業



国語科シンポジウム



小学校多文化クラブ活動の準備

教員の声



守田 庸一 教授
もりた よういち
【担当科目】
国語教材研究、国語科教育法
国語教育セミナー など
【専門分野】
国語教育学

みなさんは、どんな国語の授業を覚えていますか?教科書の文章を読んだこと、文法を勉強したこと、漢字の読み書きを教わったこと…。そうした授業をするために、先生には、日本語とその表現についての深く広い知識が求められます。また、一人ひとりの子どもには様々な背景があることを理解し、個の言語能力を把握した上で、状況に応じて多様な指導方法を実践できることも大切です。国語教育コースでは、日本語にかかわる専門的な内容を学習するとともに、国語の授業のありかたを考えたり、実際の授業を参観したり行なったりすることなどを通じて、国語科を担う教員に必要な知識と力量を得られます。

学生の声



市川 健人 さん
いちかわ けんと

私は、小学生の頃から大好きな国語についてもっと学び、子どもたちに国語の良さや楽しさを伝えられるような先生になりたいと思い、国語教育コースに進学しました。皆さんは「国語」や「言葉」ときいてどのようなことを思い浮かべるでしょうか。また、「国語を教える」「言葉の力を育む」とはどういうことなのでしょう。このようなことに対して国語教育学、国語学、古典文学、近現代文学、書道、日本語教育学など様々な分野から、豊富な知識と経験をお持ちの先生方のもとで日々、学びを深めています。また、国語教育コースの仲間とお互いの考えを伝えあうことで更なる学びにつながっているように思います。素敵な先生方、魅力的な国語教育コースの仲間と共に国語について学ぶことができる毎日は本当に充実しています。国語教育コースに入り、高校生の頃までは気がつかなかった国語の奥深さなどに気付くことができ、さらに国語が好きになりました。今は、国語の魅力を少しでも伝えられる、そんな教師になりたいと強く思っています。

将来のフィールド

卒業生の多くが、三重県・愛知県・名古屋市などの小学校・中学校・高校の教員として活躍しています。また、公務員を目指したり企業に勤めたりする人や、大学院に進学してさらに学びを深める人もいます。



学校教育教員養成課程

社会科教育コース

募集人員 初等教育選修(前期7名、後期2名)、中等教育選修(前期5名、後期2名)

社会を見つめる知と技をみがき、社会科を専門とする教員として必要な「教科力」を身に付ける
社会科(地理歴史科・公民科)教育を専門とする教員に必要な能力である教科力を身に付けるため、社会諸科学を中心とした学問を専門的に研究し、教育実践にいかすために5つの専攻に所属します。

社会科教育コースには、中学・高校の頃から社会科が好きだった学生が集まっています。教員としての専門性を高めるため、学生は5つの専攻に所属し、学問を背景とした教育・研究活動に日々励むことになります。

一年次は共通して社会科共通のオリエンテーション科目を、二年次から本格的に専攻を中心とする専門教育科目を、三年次は社会科授業についての教科教育法を履修します。また、卒業論文のテーマを選定し、四年次に卒業論文の作成に取り組みます。

副免として主免以外の小・中・高、他教科の中・高免許などを取得することができます。具体的には、小学校教諭一種・二種、中学校教諭一種・二種(社会科・他教科)、高等学校教諭一種(地理歴史科・公民科・他教科)、幼稚園教諭一種・二種などの取得が可能です。



プレゼンテーション力を育成する授業



ゼミ卒業発表会



新歓会



社会科教職セミナー

教員の声



秋元 ひろと 教授
あきもと ひろと
【担当科目】
哲学概論、哲学史
哲学特殊講義など
【専門分野】
哲学

社会科教育コースでは、人文・社会科学のみならず自然科学をも含む広領域の学問をベースとして、現代社会を生き抜く知と技を備えた人間を育てることを目指しています。学生は各自の興味関心に応じてゼミに所属して専門性を深めると同時に、社会科共通の専門科目や教科教育科目を履修して、社会科教員に求められる幅広い教養と授業実践力を身に付けることができます。また本コースでは、教員採用試験に向けたコース独自のセミナーを実施するなど就職支援にも力を入れています。学生と教員が一体となって互いに学びあうことを通じて、教員として活躍する優秀な人材が育つことを願っています。

学生の声



田岡 祐希 さん
たおか ゆうき

社会科教育コースには、哲学倫理、社会科教育、日本史、東洋史、地理学、経済学、政治のゼミがあります。2年次以降はそのいずれかに所属し、豊富な知識を持つ教員のご指導のもと、幅広い分野の研究を行うことができます。またコース全体の新歓旅行やゼミ旅行があるので、ゼミや学年を越えて仲良くなれる機会が多く、縦や横のつながりが強いことが魅力です。私は日本史が好きで社会科教育コースに入りました。しかし、高校では学べなかった地理や政治、世界史についても広く学ぶことができ、今までよりもさらに社会という教科全体の魅力を感じています。社会の魅力・面白さを伝えられるような教師になりたいと思うようになりました。

将来のフィールド

教員志望が最も多いです。社会科で学んだことをいかして公務員や一般企業で働く人もいます。

数学教育・情報教育コース

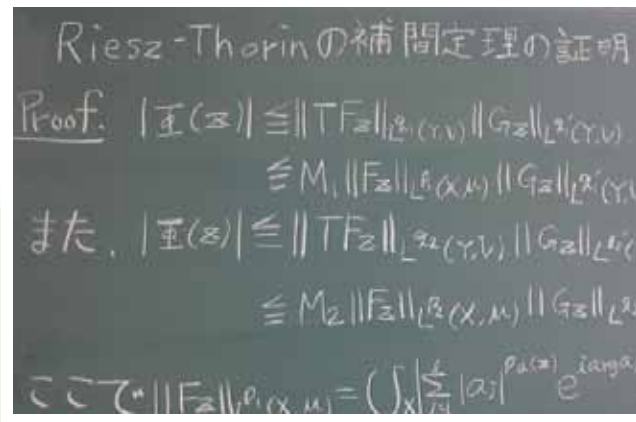
数学教育専攻

募集人員 初等教育選修(前期8名、後期2名)、中等教育選修(前期8名、後期2名)

明るく元気に、そして楽しく数学を勉強したい
小中高の教員志望の人に向いている専攻です

4年間をかけて数学を系統的に学びます。

また近隣の小中学校で児童や生徒とふれあったり、現職の先生のお話を聴いたりして、教師としての実践的な指導方法も学びます。



少人数ならではの縦と横のつながりが強く、にぎやかな雰囲気が特徴です。成績評価の厳しい先生が多く、試験前に学生は猛勉強をします。宿題の量も多いですが、分からない問題があってもみんなで助け合い、先生も親切に面倒を見てくれますから、数学の実力を伸ばせます。ここで数学を勉強しませんか。教員採用試験の合格率も良好です。

代数学

方程式の話は高校までで終了、ではない。これは終わりのない物語です。この物語を読み解く過程で「群」や「ベクトル空間」などの重要性がわかってきました。こういうものも含めて方程式とその周辺を研究するのが代数という分野です。

解析学

自然現象を科学的に理解しようとしたとき、高度な微分積分の知識が必要となります。このため、微分積分学を多変数に拡張したもの、変数の範囲を複素数に広げたもの、より一般的な関数も扱える積分論などを学生が学んでいます。

幾何学

幾何というと皆さんは直線、図形、三角形、丸、楕円などを思い浮かべるのではないのでしょうか。黑板の上では、私たちが普通に考えるものですね。では、地球上、つまり曲った面の上での直線、三角形、丸とは何なのでしょう。一緒に考えてみませんか。



さあ、一緒に楽しもう！
教師になろう！



先生とヤミ生たち

教員の声



森山 貴之 准教授
もりやま たくゆき
【担当科目】
幾何学概論など
【専門分野】
微分幾何学・変形理論

この専攻は算数・数学の教員養成のための専攻ですが、教師になるための指導、実習だけでなく、大学の数学についてもきっちりと学習を行います。大学の数学は高校までの数学の次のステップですが、それは単なる延長ではなく、新しい概念や考え方にはじめは戸惑います。また、全体的に数学の講義の単位取得の基準が厳しめであり、それなりの努力が必要です。それでも、教師を目指す者同士で助け合い、時には議論などし、どうにか乗り越えていく。そのような専攻です。もし、教師になる意志と「数学を勉強したい」という思いがあるなら、私たちは歓迎します。ちなみに教員採用試験の合格率は良いです。

学生の声



佐藤 菜央 さん
さとう なお

私たち数学教育専攻の学生は、小学校の先生や中学・高校の数学の先生になるために日々努力しています。数学教育専攻は縦と横の繋がりが強く、春の新生歓迎会をはじめ、ボーリング大会、夏キャンプ、スポーツ大会、スノーボードなどたくさんの行事を先輩や後輩と共に楽しみます。数学の講義は難しい部分が多く大変な時もありますが、親切な先生方や先輩が優しく教えてくれますし、同級生同士の支えがあるので心配ありません。大学の講義についていくためにも、高校の「数学Ⅲ」までしっかり学習しておくことが大切です。是非、一緒に楽しい大学生活を送りましょう。お待ちしています。



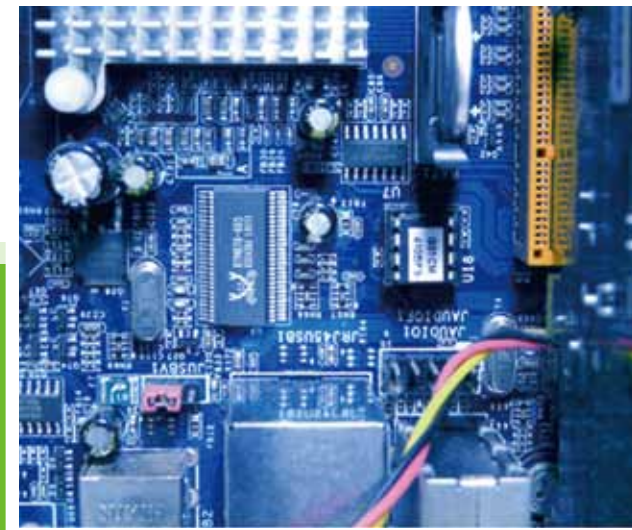
「数学科教育法」のノートです。



教師を目指す皆さんの入学を待っています。

数学教育専攻の学生行事

4月 夏休み 11月 12月	新生歓迎会 キャンプ 大学祭出店 忘年会	2月 3月 その他	スキー合宿、卒論発表会、追い出しコンパ 謝恩会 誕生日会(随時)、期旅行(同期生による旅行)、卒業旅行 など
-------------------------	-------------------------------	-----------------	--



数学教育・情報教育コース

情報教育専攻

募集人員 中等教育選修(前期7名、後期3名)

情報教育を担う教員、
情報通信技術に長けた教員を目指そう！

情報教育専攻では、現代において重要な役割を果たす情報分野の専門的知識・技術が修得でき、教育機関で必要とされる情報教育を担う教員・情報通信技術に長けた教員を目指すことができます。

今日の社会は、情報通信技術(Information and Communication Technology: ICT)により支えられています。これを背景として、教育機関での情報教育の必要性が高まっており、さらには、情報機器を利用した授業や学校・学級運営が教員にも求められています。特に、高等学校では、情報の専門的な授業を担当できる人材が必須です。情報教育専攻は、情報技術の専門知識と実践力を有し、教育機関で活躍できる情報系の教員の養成を目指しています。本専攻を卒業することにより、高等学校1種免許状(情報)を取得することができます。努力次第では、中学校や小学校等の他校種・他教科の免許状の取得も可能であり、情報分野の専門知識・技術を発揮して、教育現場をリードする教員として活躍する道も開けます(ただし、現実的には取得可能でない免許状があります)。本専攻では、一般的な教職科目、情報教育の実践的科目に加えて、以下のような、情報分野の専門的内容を学ぶことができます。

コンピュータの基礎と応用

コンピュータのハードウェア、オペレーティングシステムを含むソフトウェアの基礎と応用を学びます。特に、プログラミングについては、実習形式の授業を通して、C言語やJava言語を学ぶとともに、基本的なコンピュータアルゴリズム、実践的なVisual Basic for Applicationsなどを学びます。

情報通信ネットワーク

情報通信ネットワークは社会に欠かせない存在です。その基礎として、コンピュータネットワークの仕組みを中心として学びます。また、その応用として、ネットワークセキュリティ、様々なサーバー技術、Web技術など、情報ネットワークを使いこなすための実習を含めた科目群が設置されています。



プログラミングの授業



小学校での情報教育支援

教員の声



萩原 克幸 教授
はぎわら かつゆき
【担当科目】
プログラミング基礎
数値計算、情報科学概論
マルチメディア基礎
マルチメディア応用
【専門分野】
統計科学、機械学習

情報教育専攻では、高校の「情報」の免許が取得できます。そのために、コンピュータ、ネットワーク、プログラミング、ウェブ技術、ソフトウェア開発、データ解析、情報リテラシー、情報モラルなど情報分野の専門的なことを学ぶことができます。情報系のスキルは、社会的ニーズが高く、それを学ぶこと自体が将来の役に立つはずです。教育現場でも、教えるべき教科としてだけでなく、教育内容を充実させるツールとして、さらには、授業以外の業務においても非常に役に立ちます。ここで学ぶことで、情報分野に長けた教員として、他にはない強みを生かして活躍することができるのではないのでしょうか。

学生の声



小野 千尋 さん
おの ちひろ

情報教育専攻では、今まさに旬である情報通信技術について学べるだけでなく、教職に関する科目を受講するので、高校の「情報」という科目を教える能力が身に付き、その教員免許を取得できます。また、頑張れば、他教科の免許が取得可能で、実際に、中学校・数学や小学校などの教員免許の取得を目指して、他コース・専攻の学生と一緒に必要な授業を受けています。授業では、パソコンを使用する機会がたくさんあり、最初はパソコンが苦手でも、先生方がサポートしてくださるので楽しく学ぶことができます。今や欠かすことのできない情報科学技術について学ぶことは、将来的に多くの場面で強みになると実感しています。



ゼミの様子(コンピュータ実習)



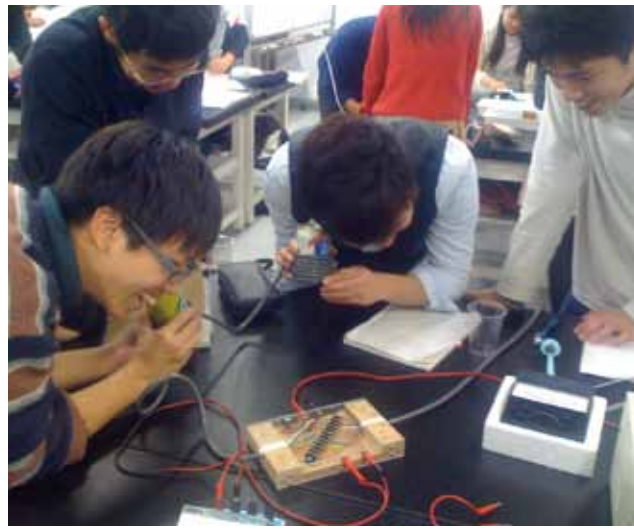
ゼミの様子(研究発表)

将来のフィールド

最近3年間の卒業生46名のうち、20名が在学中に公立学校教員採用試験に合格(小11、中8、高1)。また地方公共団体職員1名、民間企業4名、三重大学大学院進学9名などです。卒業後に教員採用試験に合格した人もいます。

将来のフィールド

情報教育専攻(および前身である情報教育課程)では、三重県・愛知県などの公立小学校・中学校・高校への採用実績があります。また、公務員として就職した卒業生や情報分野の専門知識・スキルを生かして情報処理技術者として活躍している卒業生も多くいます。



学校教育教員養成課程

理科教育コース

募集人員 初等教育選修(前期5名、推薦4名)、中等教育選修(前期9名)

日本と子どもの未来を拓く 理科教師になる4年間

理科の知識・技能、および指導力が高く、教材教具に関する高い研究開発力を持ち、教育現場で児童・生徒および教員にとって必要な理科教育の課題を的確に把握するための洞察力をもった教員の養成を目指しています。

小・中・高等学校における理科教育の方法や、その背景となる科学知識の習得のために、理科教育コースには、右記の5分野・9研究室があります。理科教育コースの学生は2年次からどれか一つの研究室に所属し、各分野の専門知識の習得と同時に学校教員になるための教育技能を身につけます。本コースでは教育実習以外にも、県内の小学生向けの科学教室や科学の祭典などの豊富な教育実践の機会があります。学生はこのような催しに数多く参加し、子どもたちに理科の面白さを伝える技能を積極的に磨いています。本コースでは小学校一種・二種、中学校(理科)一種・二種、高等学校(理科)一種免許を得られます。必要な単位を取得すれば、幼稚園一種免許なども取ることもできます。

物理学

力学、電磁気学の初歩を学んだ後、熱力学・振動・波動、現代物理学等の分野を講義と実験を通して学修します。卒業研究では、物理教材の研究、物質の性質やカオス等に関する実験やコンピュータシミュレーションを行います。

化学

物質の性質を理解するための基礎理論から有機・無機物質の性質までを、講義・実験・演習を通して体系的に学修します。また、実験では基本的な操作法や安全に実験をする方法の習得にも力を入れています。

生物学

分子レベルから生物群集レベルまでの基礎的知識と理解のために、講義・実験・演習・卒業研究を体系的に学修します。また、身近な動植物を扱った観察・飼育・栽培・調査や、教材開発にも力を入れています。

地学

宇宙科学、地質学・古生物学等の地学の諸分野を中心に高校で地学を履修していないことを念頭に、講義・実験・演習を通して体系的に学修します。野外実習(天体観測や地層観察・化石採取)にも力を入れています。

理科教育

理科をどう伝えるか、つまり、理科の授業を中心に据えた分野です。理科の目的、科学の本質、子どもの自然認識といった基礎的な内容をふまえた上で、理科授業の展開のしかた、教材の位置づけ方、評価のしかた等、具体的な授業場面について検討します。



昆虫の観察 理科実験(生物)



臨海実習



化石がきき科学の祭典



研究発表会 卒業研究発表会

教員の声



荻原 彰 教授
おぎはら あきら
【担当科目】
理科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、
理科教材研究Ⅱ、など
【専門分野】
環境教育、理科教育

理科教育コースには、理科が得意な人だけでなく、理科が苦手だけど興味があるという人も来ています。理科の楽しさを感じ、教員になって自然の不思議さや面白さを子どもたちに伝え、子どもたちの探究心を育成できるようにすることをコースの目標としています。そのために、実験や野外調査の他、卒業研究を通じて、科学的手法をしっかりと身につけるための指導を行っています。また、地域の小中学校での実験補助や、科学イベントの企画運営と実施など、数多くの実践的な活動もカリキュラムに取り入れています。さらに、理科教育関係の学会への参加や海外の教育現場の視察など、皆さんが深く広く学ぶ機会も用意し、皆さんの能力を最大限に伸ばすように努めています。

学生の声



寺本 美香 さん
てらもと みか

理科教育コースには講義に加えて「地学実習」や「野外実習」などいろんな発見を体験する授業が多くあります。また、毎年小学生を対象に「子ども科学教室」というイベントを開催しています。そこでは子ども達に「楽しい」と思ってもらえるような教材を自分たちで考え、それをを用いた授業をすることによって、子供たちに理科の楽しさを伝える方法を学ぶことができます。他にも、大学では今までにやったことのないような様々なことに挑戦することができます。私は教育学部主催の海外教育研修に参加し、ニュージーランドの最先端の教育方法を学びました。海外の教育を学ぶことは、日本の教育について考えを深めるきっかけにもなりました。皆さんも理科教育コースでいろんなことを経験しませんか。

将来のフィールド

最近3年間の卒業生49名のうち、31名が教員(小学校9名、中学校16名、高校4名、私立学校2名)となり、13名が大学院に進学しています。公務員や企業に就職する人もいます。



学校教育教員養成課程

音楽教育コース

募集人員 初等教育選修(前期3名、後期3名)、中等教育選修(前期3名)

音楽の本当の面白さを 子ども達に伝えることのできる教師になるために

深く広い専門的知識と、理性に根ざした豊かな感性、そして科学的視点を重視した質の高い指導技術を備えた教員の養成を目指しています。また、生涯学習を支援できる柔軟な思考・行動力のある人材の育成を図ります。

ピアノをはじめとする器楽の演奏法、声楽における発声及び歌唱法、それらを基盤とした合奏・合唱及び指揮法と、音楽理論とその発展にある作曲法を体系的に修めることによって、音楽の実技系各分野における専門性を高めます。また、日本音楽の歴史や演奏法、音楽史などを学ぶことにより、様々な価値観や美学に触れ、個性的で柔軟な発想を育みます。さらに、講義やゼミナールで音楽教育学の理論や授業の構成法を学び、授業観察や模擬授業を通して実践的な指導力を身につけます。

小学校一種免許状、中学校一種免許状(音楽)、高校一種免許状(音楽)を取得することができます。努力次第では、他校種・他教科の免許状の取得も可能です。

音楽教育学

教育に関する理論を基盤として、教育課程の構造、授業の構成、教材に関する解釈等について学びます。また、音楽の各分野に関する基礎的知識および技能に基づき、総合的な実践力を身につけます。

作曲・音楽理論

音楽を指導する立場にある者は、音楽の構造・成り立ちについて知っていなければなりません。作品に接するにあたり、どのように考えたらよいかを基本から取り組むために、「和声法」「作曲法」等の授業があります。



ソルフェージュ



日本音楽(二味線の実習)



小学校専門音楽(弾き歌いの指導)



学生控室の様子

教員の声



兼重 直文 教授
かねしげ なおふみ
【担当科目】
器楽研究、
器楽ゼミナール、指揮法、
器楽(伴奏法・合奏)ほか
【専門分野】
器楽(ピアノ)

音楽教育コースのある音楽棟は“音楽に溢れる館”、ここで学生たちは日々音楽と向き合い、教師になることを夢見て充実した学生生活を送っています。ふと“音楽とは何か”と考える時、人と音楽と社会環境の密接な関わりの中で活かされる人間の叡智を結集した創造物、これを通して私たち教員も“音楽に内在する力”について学生たちと語り合いながら、学校教育に求められる“音楽の存在する意義”を追い続けています。音楽棟は全室冷暖房を完備、練習室も48室、そこにはアップライトピアノを37台とグランドピアノを6台、その他、学校現場で対応できる多種多様な音楽教材楽器等も揃えています。皆さんが抱く音楽を礎とした“教師への夢”を共に追いかけていきましょう。

学生の声



小林 拓雅 さん
こばやし たくま

音楽教育コースでは音楽の教員免許取得のため、声楽やピアノはもちろん、様々な楽器にも触れられます。入学前、私は音楽理論や音楽史についての知識は少ししかありませんでしたが、授業を通して少しずつ学んでいます。22時まで自主練習ができるので、空き時間や放課後、サークルなど課外活動を終えた後でも練習ができます。また、音楽教育コースは少人数なので横の繋がりがしっかりしています。それに加え、新入生歓迎会やコース全員で合唱に取り組む機会など、全体で集まる機会も多いので、縦の繋がりもしっかりしており、困ったときは先輩に手助けしてもらえる良い環境もあります。音楽・教育等に関心のある方、お待ちしております。

将来のフィールド

小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭だけではなく、進学、研究員等、専門領域で研究活動を推進する卒業生もいます。また、公務員や企業に就職する人もいます。



学校教育教員養成課程

美術教育コース

募集人員 初等教育選修(前期5名)、中等教育選修(前期3名)

美術の力と魅力！
それを知りそれを活かす教育の途がここにあります

美術の制作と理論の追究、美術教育の実践と理論の探究、というそれぞれの力量を高め統合した専門的能力を身につけるとともに、学校や社会教育現場で求められる高度な実践力を備えた教育者を養成します。

教育学部の特色を生かして制作と理論の両方の力量を獲得できるのが特色です。1年次から絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術史・美術理論の各分野の専門的な制作と理論が学べます。3年次からは「副論文・卒業制作」か「副制作・卒業論文」のいずれかのコースを選択し、専門的な研究を行います。
「小学校教諭一種」または「中学校教諭(美術)一種」の教員免許を取得します。その他高校(美術)免許、学芸員資格、幼稚園・中学校教諭(他教科)は選択で取得できます。

絵画

デッサン、透明水彩による着彩、油彩による西洋古典絵画技法、アクリルエマルジョンを用いた混合技法など様々な表現を体験し、多種多様な画材と素材に臨機応変に対応できる自由な発想力を養い、各自の表現のパリエーションを広げていきます。

彫刻

個々の学生の資質に合わせた幅広い分野の立体造形の授業を行っています。実技制作と平行してスライドレクチャーを行い、表現についての知識を深め、時代や歴史的な観点をふまえたうえで自己表現を目指しています。

デザイン

基礎造形のうち平面及び立体の構成を中心にした課題や、CGを使った実践的なデザインワークから、デザインに必要な理論、思考法、技法、色彩学を学び、デザインとは何か、作品制作を通して考察していきます。



絵画の授業から



授業風景…デザイン



彫刻教室制作風景



美術史授業風景

教員の声



奥田 真澄 准教授
おくだ まさみ
【担当科目】
彫刻Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ
彫刻特講、彫刻演習など
【専門分野】
彫刻、塑造、具象表現

美術教育コースでは、美術と美術教育を深く学ぶための充実したプログラムが組まれています。1年次は美術館での子ども活動の企画・実施、2年次は美術館の企画・運営、3年次は作品制作または理論による副研究、4年次は卒業研究と卒業制作展開催と、美術・美術教育の様々な学びから、社会で通用する実践力と理論を身につけていきます。これらの基礎になるのは1年次から始まる美術の専門分野(絵画・彫刻・デザイン・工芸・美術史・美術理論)の学習と教科教育法の授業と教育実習等の美術教育の学びです。また、学年を越えた深い繋がりや学生と教員の懇切なコミュニケーションを大切にしているのも本コースの特徴です。

学生の声



三谷 沢子 さん
みやたに さわこ

美術教育コースは、美術とはなにか、そして美術を教えるとはどうゆうことなのかを考えながら学ぶことのできるコースです。
授業では、絵画、彫刻、デザイン、工芸のような様々な分野を、少人数で丁寧に基礎から学ぶことができ、美術館でのワークショップや、展示会の運営なども体験できます。これらの学修を通して、美術とはなにか、それを広めたり教えたりすることはどうゆうことなのかを深く議論し考えていきます。また、美術館や寺院などで、実際に美術品にふれあって学ぶ研修もあり、より深く美術作品を学ぶこともできます。
ぜひ、この様な幅広い経験ができる美術教育コースと一緒に学んでみませんか？

将来のフィールド

卒業生の多くは、小学校・中学校(美術)・高等学校(美術)の教員になります。最近では大学院に進学したり、デザイン関係の企業に就職する学生もいます。



学校教育教員養成課程

保健体育コース

募集人員 初等教育選修(前期5名、後期3名)、中等教育選修(前期5名、後期3名)

健康で運動好きな子どもを育てるために、
保健体育に関する様々な分野の学習をします

運動の楽しさやおもしろさ、精一杯体を動かすことの気持ちよさを味わえる、健康や体に関する正しい知識と実践力を持つ子ども。本コースではそのような児童、生徒を育てる教員の養成を目指しています。

本コースでは保健体育に関する専門的な知識と実技能力を基礎として、高い授業実践力を養うための学習をします。専門的な知識を高める学問分野には保健体育科教育学、体育・スポーツ学、運動学、学校保健の各分野があります。取得可能な免許は小学校教諭、中学校教諭(保健体育)、高等学校教諭(保健体育)等です。また、(公)日本体育協会公認スポーツ指導者養成制度の資格取得に必要な講習および試験の一部(共通科目Ⅰ+Ⅱ)が免除されます。

保健体育科教育学分野

学校教育における体育・保健体育の授業をどのようにデザインし、展開し、省察していくかということについて学びます。教材研究、授業観察、授業研究(模擬授業)を通して、保健体育科教育の目的、内容、方法等を学び、体育担当教員としての専門的資質と実践的指導力を培っていきます。

体育・スポーツ学分野

体育やスポーツについて心理・社会・歴史・哲学などの視点から追求していきます。例えば実力を発揮する方法、人間関係や集団・組織のマネジメントのあり方や指導・支援方法、スポーツ振興政策の仕組みや現状、体育やスポーツとは何か、体育やスポーツの変遷等について紐解きます。



学校現場の体育教師との
フラット運動実技研修会



野外運動Ⅱ 臨海実習の授業
― 日本海岸でカヌーの乗習 ―



授業研究会への参加
― グルメ・ディスカッションの発表 ―



体育実技「器械運動」の授業で
倒立の練習

教員の声



後藤 洋子 教授
ごとう ようこ
【担当科目】
体操、ダンス
小学校専門体育 など
【専門分野】
体操の指導方法論

本コースの新入生は、保健体育の専門家として教員を目指す人達が多数を占めていますが、実際には小学校の教員になる人が多いようです。小学校において体育の専門性を持った教員は、子どもの発育・発達に即した体力、運動能力の向上という観点からも重要な存在だと考えます。また、中学、高校の体育教員を目指す場合においても、保健体育の専門家として良い体育の授業ができることが不可欠です。どの校種の教員を目指すにしても、本学での様々な授業、実習、実践活動を通して専門的な理論に裏付けられた実技力、実践力を養いましょう。更に高度な専門性を身につけるために大学院に進学する道も開かれています。

学生の声



倉田 明奈 さん
くらた あきな

保健体育コースでは、実際に体を動かす実技の授業はもちろん、体育について考える授業や、健康やスポーツを様々な分野から追究する授業などがあります。このような授業を受け、体育に対する新たな発見をしたり、自分の興味があることを見つけたりすることができます。
また、いろんなことを教えてくれる先輩方や慕ってくる後輩、授業や実習と一緒に乗り越える同期、といった素晴らしい仲間と共に大学生活を過ごすことができます。
体を動かすことが好き、運動のおもしろさを伝えたい、と思っているあなた! 私たちと一緒に充実した大学生活を過ごしませんか!?

将来のフィールド

三重県や近隣の公立小、中学校(講師を含む)の教員となる人が多数を占めますが、公務員になる人や大学院に進学する人もいます。また近年、三重大学の職員として採用される人も見られます。



学校教育教員養成課程

技術・ものづくり教育コース

募集人員 初等教育選修(前期4名)、中等教育選修(前期4名、推薦1名)

ものづくりの楽しさと、技術の素晴らしさを伝えることのできる教師を目指して

将来、技術立国日本を支える子どもたちに、ものづくりの楽しさと、技術の素晴らしさを伝えることのできる教師を目指し、技術教育を支える学問の理論と技能を総合的に学習します。

技術教育は、技術立国日本を支えるだけでなく、子どもたちの工夫創造の能力や実践的態度の育成など、人間形成の上でも大きな役割を果たしています。小学校におけるものづくりを含め、このような技術教育について学ぶのが技術・ものづくり教育コースです。本コースでは2年次より技術教育、電気工学、機械工学の3つの研究室のいずれかに所属して専門性を高めます。

生活に密着する科学としての技術・ものづくり教育を、その理論・実践両面からのアプローチを通して深めていくとともに、それを支える材料加工、機械、電気、生物育成、情報に関する専門的な教育・研究を探究していきます。

技術科教育法

「技術」や「ものづくり」を対象とした教育における、教材や学習指導法、教授技術について実践的に学修します。

材料と加工

木材、金属、プラスチックと、目的により使用する材料も、加工法も異なります。また、材料の再資源化や廃棄物の発生抑制など、自然環境の保全等にも関係しています。このような材料と加工に関する技術について学修します。

機械

我々の身の回りにある工業製品全ての設計・製造・稼働・メンテナンスに関わる事項、またそれに必要となる基礎理論と応用技術について学修します。



研究授業(いろいろな形の強度を調べよう)



ものづくりの授業(クリスマスツリーのデコレーション)



授業実践(多様な視点で製品を選ぶ)



プログラミング・ロボット体験教室

教員の声



松岡 守 教授

まつおか まもる

【担当科目】
電気工学概論、電気回路
電子工学 など
【専門分野】
電気工学、知財教育

当たり前すぎて普段は意識することもないかもしれませんが、よく見ると私たちの生活・社会・産業は、様々な技術で溢れていることがわかります。そこには、より良い生活や社会のために考えた先人・先達の工夫が詰まっています。AI(人工知能)の応用で世の中が大きく変わろうとしている一方で、物によっては長年の切磋琢磨の賜物の匠の技によるしかないものもあります。技術進歩に支えられての産業発展の暗い側面として、環境問題がクローズアップされています。しかし今後環境問題を克服し、持続可能な社会を構築するのにもまた新しい技術が求められています。

工夫しものづくりをすることは、なかなかうまくいかなくて制作途中で苦勞する場面も含めて、完成後に振り返るととても楽しい体験です。こうした技術・ものづくりの楽しさを自ら味わい、その楽しさと、上記の技術が持つ役割を伝えられる小学校や中学校、高等学校の教員を目指しませんか。

学生の声



大伊 茜 さん

おおい あかね

技術・ものづくり教育コースでは、身の回りの技術やものづくりに関わることを幅広い領域で学びます。1枚の板からオーディオスピーカーを製作する実習や、電気回路での実験など実践的な授業も多く、技術科教員となる上で必要な知識・技能を身に付けることができます。また、子どもたちものづくりを行う活動もあり、とても楽しいです。領域が広い大変ではありますが、先生や先輩方が丁寧に教えてくださるので、心配ないです。

さらに、他校種や他教科の免許も取得可能なので、自分のやりたいことを思う存分できるのも魅力です。

技術は、男子のイメージが強いかもしれませんが、現在は約半分が女子学生です。学年や男女に関係なく、みんなでワイワイできるイベントもたくさんあります。楽しい大学生活を過ごしたい方、自分の夢を叶えたい方は、ぜひ技術・ものづくり教育コースと一緒に学びましょう！



学校教育教員養成課程

家政教育コース

募集人員 初等教育選修(前期4名、推薦3名)、中等教育選修(前期5名)

広い視野から人間の生活と環境を探究できる教員になるために

家政教育コースでは、人間形成にとって必要な生活の問題を、日々の家庭生活や地域生活に着目して、広範な視点と分野から、理論的・実践的に研究しつつ、それらを家庭科に生かし、新しい時代を担う家庭科教員になることをめざして学びます。

家政教育コースは、家庭科教育、家庭経営学、被服学、食物学、住居学、保育学の6つの領域からなり、文系・理系どちらの分野の科目も必要なコースです。取得できる免許は小学校教員免許、中学校および高等学校の家庭科教員免許です。そのほかにも、希望すれば学芸員や司書教諭等の資格も取れます。

家庭科教育

家庭科教育の理論と専門領域の知識を統合し、よりよい授業実践ができる力を育成します。主な授業科目は、家庭科教育法・家庭教材研究です。

家庭経営学

システムとしての生活が安定するための知識を学び、豊かで創造的な生活について考えます。主な授業科目は、生活経営論・家庭経済論・家族関係論・家政学原論・消費者教育論です。

被服学

衣生活に関する知識(デザイン・素材・設計・管理・衛生など)を学び、実生活に役立つ教育へ導くことを考えます。主な授業科目は、被服学概論・被服構成学・被服実習・衣生活科学・被服学実験です。



調理実習の様子



被服構成学の授業の様子



食物学実験の授業の様子



教員の声



吉本 敏子 教授

よしもと としこ

【担当科目】
家庭科教育法
家庭教材研究、消費者教育論
【専門分野】
家庭科教育、消費者教育

家庭科では、家庭経営、衣食住、保育等の領域の学習を通して、一人一人の人間が自己実現をしながらよりよい生活や人生を送ることについて学びます。また生活を時間的・空間的に幅広く捉え、少子高齢化、環境問題、消費者問題などの社会的課題を視野に入れながら、生活と環境についても広い視野から学びます。そして、実習や実験などの体験的に学ぶ授業、講義や演習などの理論的に深く探求する授業を通して、学んだことを実生活で応用できる実践力や、生活環境を変えられることのできる力を持った子どもを育成できるような実力を備えた家庭科教師を育成します。家庭科の深い学びが、きっとあなたの生活や人生も変えてくれると思います。

学生の声



西井 沙弥 さん

にしい さや

家政教育コースでは、衣食住を中心とした幅広い領域から「家庭科」について深く学びます。様々な視点から考え、多くの実践を経験することができるため、家庭科教員になるために必要な力を十分に身につけられます。さらに、自らの生活をより良いものにすることができるでしょう。家庭科は日常生活と直結する教科であるため、授業で学んだことを実生活に活かすことができるのもこのコースの魅力です。

また、コース全体で行うイベントもあり、同学年はもちろん、先輩・後輩との仲が深まり、強い繋がりが生まれます。皆さんも家政教育コースに入って、一緒に楽しみながら学び、充実した大学生活を送ってみませんか？

将来のフィールド

進学(本学/他大学大学院、教育学研究科以外を含む)、教員(幼稚園、小学校、中学校技術、高等学校工業、特別支援学校、工業高等専門学校、大学)、公務員、企業(製造業、教育関連、情報関連)

将来のフィールド

卒業後はほとんどの学生が小学校や中学校家庭科の教員となりますが、大学院へ進学する学生や公務員または一般企業へ就職する学生もいます。大学院への進学は本学の大学院教育学研究科をお勧めします。



学校教育教員養成課程

英語教育コース

募集人員 初等教育選修(前期5名)、中等教育選修(前期7名)

英語教育コースは国際化にふさわしい資質と能力を持った英語教員を養成するコースです

英語教育コースでは、英語の実践的能力を身につけるとともに、英語の歴史的・社会的背景、英米の文学や文化、英語教育法を総合的に学び、確かな英語力、言語感覚、国際感覚の習得を目的としています。

英語教育コースのカリキュラムは英語学・英米文学・英語教育・異文化理解・英語コミュニケーションの分野からなっており、さまざまな側面から英語に親しんでいきます。英語コミュニケーションの分野では英語会話や英作文など実用英語のスキルを習得し、英語学、英米文学、英語教育、異文化理解などの専門分野では、講義と演習を通して英語教員に求められる専門的知識を身につけていきます。インターネットを用いて米国の大学との遠隔授業も行っています。

英語学

英語学の分野では、英語の仕組みや働きを実例の観察・分析を通して多角的に研究し、その成果を中学校・高等学校における指導に活かすことをめざします。また、英語が実際に使われている状況、英語が今日「国際共通語」と呼ばれるに至った経緯などを、さまざまな文献資料を通して学んでいきます。

英語教育

英語教育の分野では、言語習得理論から小学校の外国語活動や中学校・高校における具体的な英語指導法まで、英語教育全般にかかわる事項を学びます。また、教案作成・模擬授業や学校訪問を通して授業実践力も育みます。

取得可能免許

●幼稚園教諭:1種または2種免許 ●小学校教諭:1種免許・2種免許 ●中学校教諭(英語):1種免許・2種免許 ●高等学校教諭(英語):1種免許



オクラホマ大学教育研修



米国の大学との遠隔授業



教員実地研究での授業実践



新入生歓迎会(合宿研修)

教員の声



荒尾 浩子 教授
あらお ひろこ
【担当科目】
英語教育
【専門分野】
学習者論

英語が好きで、英語力を高めたい、英語という言語や英米文化に関心があり、英語の諸相について深く学びたいという意欲のある人をお待ちしています。将来、英語の世界の魅力、英語を学ぶ楽しさや意義を、身を持って児童・生徒に伝えていけるような先生を目指しませんか。英語教育コースでは英語学、英米文学の専門知識に基づき英語を科学や芸術として扱える力を培い、異文化理解を深めます。さらには言語習得の知識に裏打ちされた英語教育法を学びます。豊かな英語の世界観を持った先生がたくさん巣立っていてくれることを願っています。

学生の声



水谷 友紀 さん
みずたに ゆき

私は中高の英語の先生に憧れて、自分も教職の道に進みたいと思い英語科を受験しました。英語科では、英語学、英米文学、英語教育、異文化理解の4つの分野について学びを深め、英語の力を磨くことができます。大学で学ぶ英語は専門性が高まり、高校生までとは異なる「英語」という言語の奥深さに触れることができます。海外の学生との遠隔授業でお互いの文化についてプレゼンしたり、ネイティブスピーカーの先生と授業や休み時間に会話をしたりと生の英語に触れる機会もたくさんあります。3年次の4週間教育実習では実際に教壇に立ちます。実習前や実習中は大変なことも多いですが、大学の先生や指導教員の先生、児童や生徒、先輩や後輩、そして同期の支えが私の大きな原動力になりました。また、英語科では様々な行事を通して縦の絆も深めることができます。ぜひみなさんも私たちと一緒に英語を学びましょう！

将来のフィールド

卒業生の多くは三重県内および他府県の小学校・中学校・高校の教員になっていきますが、最近では企業に就職したり、国内外の大学院に進学する卒業生もいます。



学校教育教員養成課程

特別支援教育コース

募集人員 前期11名、後期7名

基礎免許(小学校など)と、特別支援教育の免許状、両方の取得を目指すコースです

子ども一人ひとりの特別な教育的ニーズ(発達の遅れ、他者とのかわりの苦しさ、学習のつまずき、身体の動きの制約、疾患による制約や後遺症の影響など)に目を向け、適切な支援ができる教員等を育成するコースです。

2007年から、全ての教育機関(幼稚園、小学校、中学校、高等学校等)において特別支援教育を実施することとなりました。特別支援学校のみならず、地域の学校にも特別な教育的ニーズを有する子どもが多く在籍しています。現在、ほとんどの学校園には「特別支援教育コーディネーター」という役割の教員がいます。すべての子どもたちの教育を支える上で、特別支援教育は欠かすことのできない基盤であり、そのプロフェッショナルとして現場で活躍できる教員を育成しているのが当コースです。

免許状について

特別支援教育コースでは、必ず2つの免許状を取得します。1つ目は、小学校一種(または二種)免許状、もしくは、中学校・高等学校教諭一種(または二種)免許状です。2つ目は、特別支援教育一種免許状(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)です。努力次第ですが、上記の免許状とあわせて、幼稚園教諭免許状の取得を目指す学生もいます。

教員の専門分野について

特別支援教育コースには、5名の教員がいます。教育学担当の教員が2名、医学担当の教員が1名、心理学担当の教員が2名です。免許状に対応する「知的障害」「肢体不自由」「病弱」の分野について学ぶほか、「発達障害」「重度重複障害」「視覚障害」「聴覚障害」などについても学びます。5名の教員で複数の分野をカバーしています。その分、学生と教員が接する機会が多いのが当コースの特徴です。



学習の様子



ボランティア



授業の風景



ボランティア

教員の声



郷右近 歩 准教授
ごうこん あゆむ
【担当科目】
特別支援教育入門 など
【専門分野】
発達神経心理学

特別支援教育コースのページに目をとめて頂き、ありがとうございます。特別支援教育は、以前は「障害児教育」と呼ばれていた分野です。知的障害・肢体不自由・病弱などの分野に加え、一般の学校園でも特別な教育的ニーズを有する子どもたちの支援に取り組みます。高度な配慮が必要な分、少数の子どもたちとじっくり向き合えるのが、特別支援教育の魅力です。一緒に学びたいという学生の皆様をお待ちしております。

学生の声



鈴木 佳恵 さん
すずき かほ

特別支援教育コースでは、様々な子どもたちがいる中で、その一人一人に目を向けて、必要な支援について考え、学んでいます。特別支援教育は、小学校などの教員になる上でも大切な考え方で、それを目指す学生も多くいます。また、学生の自主的なボランティア活動によって、障害のある方々に関わる機会がたくさんあります。自分たちで活動を企画することもあり、実践的に学ぶことができます。

将来のフィールド

小学校の先生や、特別支援学校の先生を目指す学生が一般的です。幼稚園の先生や、試験を受けながら保育士を目指す学生もいます。これ他に、行政や福祉の立場からの支援(公務員など)を目指す学生や、より専門性を高めてゆく(大学院への進学など)学生もいます。



学校教育教員養成課程

幼児教育コース

募集人員 前期10名

子ども時間を
ともに過ごしてみませんか

幼児教育者は、子どもの豊かな成長と発達に大きな役割を果たしています。このコースでは、高い専門性と実践力のある幼児教育者を育成するために、講義や演習、実習などを通して必要な専門的知識や方法を体系的に学ぶことができます。

本コースは、幼稚園教員一種免許の取得を目的としています。1年次には、保育者に必要な幅広い教養と基礎知識を身につけます。2年次には、保育の基礎理論を学び、保育参加を通して保育技能を磨きます。3年次には、理論を踏まえた保育実践を、自らが展開することを通して専門性を高めます。4年次には、保育実践を持ち寄り、理論に今一度立ち返ることを通して専門性を深めます。2016(平成28)年度より幼児教育コースに入学した学生は、保育士資格が取得できます。さらに希望によっては、小学校一種、二種の教員免許も取得することができます。

幼児教育学

人間の発達過程のうち、最も著しい時期が幼児期といわれています。この時期の子どもにとって望ましい教育内容や方法、環境のあり方などに、「子どもの最善の利益」の立場に立ってアプローチする領域が幼児教育学です。

幼児心理学

心身ともに著しい成長を遂げる乳幼児期の子どもの心理的発達について学びます。こころの発達過程について知ることは、子どもの思いをより深く理解することに繋がります。

保育内容研究

乳幼児の発達に基づいた保育内容(人間関係、言葉、表現、健康、環境)を学びます。具体的な実践や事例から知識や技能を習得するとともに、保育の指導・援助のあり方について考えを深めます。



教員の声



須永 進 特任教授
すなが すずむ
【担当科目】
幼児教育学
幼児教育学特別研究I・II
教育課程総論 ほか
【専門分野】
幼児教育学、子育て支援
子どもの保育

幼児教育では、幼児教育学、保育内容、幼児心理学を中心に、子どもの幼児期に関する理論や実践等の学習を通して幼児の望ましい成長・発達について系統的に、また体系的に学ぶことを目的としています。入学後、基礎から専門科目へ、学ぶ主体である学生の学習の興味や関心にそってカリキュラムが構成され、4年間で必要とされる幼児教育に関する学習内容を履修できるようになっています。また、附属幼稚園等での見学や観察、教育実習を通して体験的理解と実践力を身につけることができます。このコースでは幼稚園教諭一種免許状と保育士資格のほか、必要科目の履修により小学校教諭一種または二種免許状の取得が可能です。

学生の声



大川 真夏 さん
おおかわ まなつ

このコースでは、乳幼児の成長・発達に関する知識や子育て環境の現状について学びながら保育者になるために必要な専門性を身につけることができます。また附属幼稚園をはじめとする地域の幼稚園や保育所で、実際に子どもと触れ合うことができる機会も多くあります。そこでは、子どもと一緒に遊ぶなどの様々な体験を通して、子どもの気持ちが身近に感じられるようになり、保育者になるために大切な経験を積むことができます。そして、1学年10人という少人数制であるため、全員で協力しながら楽しく学びを深められるだけでなく、他学年との交流も多いためコース全体で学びを共有することができます。このように大学生活全体を通して充実した4年間を過ごすことができます。



学校教育教員養成課程

学校教育コース

教育学専攻

募集人員 推薦3名、前期7名

学校での問題を教育学を通して
解決できる人を育てます

学校教育現場の多側面で活躍できる能力を育成する総合的なカリキュラムがあります。教育学の豊富な知見を学ぶ授業とともに、それらを現場で生かすための実践的な科目が準備されています。

教育学専攻は、教科内容ではなく教科を越えた「教えること」に関わる内容を中心に学びます。そのために、教育学のスタッフが、教科の学習指導の根本となるような事柄(教育の哲学、教育方法など)や、いじめ・不登校・学級崩壊など学校の諸問題、そしてより大きな教育システム(教育制度、諸外国の教育など)に関わる事柄など、教育に関わる幅広い理解ができるカリキュラムを用意しています。

本専攻は、小学校一種免許の取得が卒業要件となっており、必要な単位を取得すれば、中学校、高等学校、幼稚園、特別支援学校の一・二種免許の取得が可能です(中学・高校の免許については教科によって取得できない場合もあります)。他に、学校図書館司書教諭や学芸員の資格の取得も可能です。

教育学専攻には、以下のような特色ある授業科目があります。

教育の哲学

学校教育で扱われている諸テーマについて、それらがなぜ教育上価値あるものとされるのかについて考えます。例えば、経験によっては獲得されない知が教育において有する意味について探します。

子どもの生活と教育

子どもたちが自分たちの生活における様々な問題を発見し、その解決に向けた取り組みを続け、その過程で学び合っていくような教育の意義と可能性を追求します。



入団ゼミナールの授業風景



研究演習の授業風景



学校教育実地研究



学生授業でのようす

教員の声



伊藤 敏子 教授
いとう としこ
【担当科目】
教育の哲学、教育の人間学
文献講読法
【専門分野】
教育哲学

教育学専攻は、小学校免許を必須としていますが、多くの学生は、幼稚園や特別支援、また中学校の免許も取得します。学生の気質(かたぎ)としては、子どもが好きで、子どもの発達や内面に関心のある人が多いです。カリキュラムとしては、理論と実践の融合を目指し、哲学や理念を持って、専門的な共同体をつくりながら教育実践をデザインできる教師(カリキュラムや授業づくり、そして生活指導の力を持つ)を育てます。また実際に学校現場に足を運んで活動する実地研究科目を早期(1年生)から設定し、教育の現代的諸問題に対する課題解決能力を育てています。

学生の声



飯島 実優 さん
いいじま みゆ

科目名のコースとは違い「教育学」というと難しい印象があるかもしれませんが。教育学専攻は教育そのものについて、様々な視点から迫るコースです。具体的には、子どもに楽しく、分かりやすい授業づくりを学ぶ「授業論」、教育制度から校則、体罰までもを扱う「教育行政学」、いじめや不登校への対処を考える「生活指導論」などがあります。また、教育学専攻の特徴として実践的な活動が多いことが挙げられます。早い人は1年生のうちから市内の小・中学校で放課後の学習支援活動に参加したり、附属学校で授業をしたりすることでしょう。自然と自分の力や知識を試す機会が多くなり、大学内での授業も受動的ではなく、能動的に受けることができます。

将来のフィールド

幼児教育コースの卒業生の多くは、幼稚園や保育所を中心に就職していますが、近年では、社会的要請の高い保育所への就職が増えています。また、地方公務員、企業等への就職者も少なくなく、その多くは正規職員として社会進出しています。

将来のフィールド

主な就職先として、三重県公立小学校、愛知県公立小学校、奈良県公立小学校、京都府公立小学校、教育・学習支援業(学習塾など)、公務員(市役所など)、一般企業などがあり、大学院に進学する者もいます。



学校教育教員養成課程

学校教育コース 教育心理学専攻

募集人員 推薦3名、前期7名

学校での子どもの問題を
心理学的側面から支援できる人を育てます

学校教育のなかで、心理学は古くから学習・発達・対人関係・
こころの問題などに関する数多くの知見を提供しています。教育
心理学専攻では、心理学の方法論を学び、専門的知識を持つ
教師として、学校現場で活躍できる人材の育成を目指します。

教育心理学専攻は、心理学の基本的な内容を中心に学びます。
学校教員として必要な心理学の素養を身につけてもらうため、教授法や学習心理学の分野、発達や認知心理学の分野、社会心理学や
コミュニケーションの分野、発達臨床や心理的援助の分野を学んでいきます。また、大学での学習にとどまらず、県内の小学校などでの教育
実践の機会も積極的にとりいれています。

本専攻は、小学校一種免許の取得が卒業要件となっており、必要な単位を取得すれば、中学校、高等学校、幼稚園、特別支援学校の
一・二種免許の取得が可能です(中学・高校の免許については教科によって取得できない場合もあります)。他に、学校図書館司書教諭や
学芸員の資格の取得も可能です。

教育心理学専攻には、以下のような特色ある授業科目があります。

発達臨床

子どもの事例をとりあげながら、心理面や認知面に配慮した具体的な援助
方法について学んでいきます。

心理データ解析

心理学の研究法として、質問紙調査法の実施方法とデータの統計的分析
手法を学びます。

学習心理学

記憶や動機づけなど子どもの学習場面に関わる理論について、その応用も
視野に入れながら学んでいきます。

学校教育実地研究

学校教育に関係する様々な活動に関わることを通して、現場で生かせる力
を育てます。



研究生の「授業での授業風景



学校教育実地研究



行動科学基礎実験



研究発表の様子

教員の声



中西 良文 准教授

なかにし よしふみ

【担当科目】
学習心理学
モチベーションサイエンス
【専門分野】
学習心理学

学校教育において、教育心理学の知識は、
子どもの育ちを支えるとても大切なものです。
特に、学校の中でなかなか適応できない子
どもや学校場面での学習が困難な子どもに
対する支援において、このような知識が果た
す役割は大きいです。ただ、そのような場面
での子どもへの支援においては、忍耐強さや
真摯さが極めて重要になってきます。また、
子どもや様々な専門家と丁寧にコミュニケ
ーションをとっていきける力も必要です。本専
攻で学習することで、そのような力を身につ
け、活躍できることを期待しています。

学生の声



伊藤 佳奈 さん

いとう かな

教育心理学専攻では、学習心理学、社会
心理学、臨床心理学、認知発達心理学の4
種類の心理学について学ぶことができます。
心理学は人の感情や気持ちにアプローチし
ていくだけでなく、自分を見つめ直すきっか
けになったり学校現場で様々な子どもたち
と接するときに役立てたりすることができます。
また、ここでは教員だけでなく公務員や大
学院進学など人によって進路は様々で、先生
方や先輩も丁寧に相談に乗ってくださるの
で、自分のやりたいことをじっくり考えるこ
とができます。心理学に興味がある人、子ども
たちの気持ちに寄り添える先生になりたい
人、私たちと一緒に教育心理学専攻で学ん
でみませんか。

将来のフィールド

主な就職先として、小学校教員が挙げられます。この専攻での学習を通して、カウンセリングマインドを持った教員として活躍できることを期待し
ています。他にも、公務員(児童相談所・児童福祉施設などの心理職)や大学院進学(教育・発達系の資格取得のため、研究者志望)などもあります。



附属教職支援センター

教員を目指す学生の学びを
サポートします

附属教職支援センターは、英語で Center for Future
Teachers and School Support と表記されています。
「未来の教員」とは、教育学部で学びたい皆さんです。将来、幼・
小・中・高・特支学校等で教員になりたい夢をサポートします。

教職支援センターは、「教育学部における教員養成教育、教師教育についての支援業務および調査・研究の成果に基づき学校教育の
発展・充実に寄与する」という目的のもとで、平成27年4月1日に新設されました。

教員養成支援部門

学校現場経験者を中心とする専任スタッフが、教員採用試験合格までの手
厚いサポートを行います。

研修開発支援部門

現職教員の研修や教師育成に関する開発と支援を行っています。

学校連携支援部門

近隣学校園を含めた地域連携型の実践的な教育体制をサポートします。

総合支援室

教育実践力の育成を目的とする科目の履修や活動カルテの企画や管理を
通して学生の学修支援を行います。

教員採用試験対策セミナー

教員採用試験を受験する学生を対象として、3年次後期から教員採用試験合格のためのセミナー(教授セミナー)を開催しています。オリジナル教材や模擬試験
などを通して、筆記・面接・論文・模擬授業などの準備・対策ができます。

3年次後期

10月～3月 面接練習(幼教対象)、ウィンターレビュー、学内模試(第1回)、面接説明会・テーマノート作成指導、小学校DVDセミナー

4年次

4月 学内模試(第2回)

5月 学内模試(第3回)・論文文指導(～8月)

6月 学内模試(第4回)・面接練習・小学校実技セミナー

7月 論述指導・小学校実技セミナー

8月 2次対策(面接・集団討論・模擬授業・場面指導等)

9月 面接練習(幼教対象)



総合支援室分室



学校連携支援部門



集団討論練習



情報タブレット端末を用いた研修、
現職教員と学部学生が一緒に

教員の声



須曾野 仁志 教授

すその ひとし

【担当科目】
教育の方法と技術
【専門分野】
授業デザイン論
アクティブラーニング

将来、教員を目指す学生は、学校で担当す
る教科や活動内容を知っているだけでなく、
教え方や学び方、そして、子どもの心理につ
いてもよく知っておくことが大切です。学生
時代には学校現場を訪れ、授業を数多く参
観し、現場の先生から学ぶことも重要です。
「教員になりたい」という皆さんの夢を実現
させることをまず第一優先に考えていますが、
学校園に就職してからも生涯学び続ける現
職教員の研修・サポートや、三重県内の学校
との連携支援も、教職支援センターでは大
事にしています。

もっと詳しく

教育学部の教職支援については、次のページをご覧ください。
<http://www.edu.mie-u.ac.jp/education/teaching-pr/index.html>



進路状況

(2018年度現在)

進学

大学院で学ぶ

●より専門的な知識を求めて

学校教育における高度な能力の獲得を目的として設置され、学部卒業生だけでなく、多くの現職教員の方々が学んでいます。

平成29年度より教育科学専攻と教職実践高度化専攻(教職大学院)の2つの専攻になりました。

大学院教育学研究科 教育科学専攻

理念・目的

教育科学専攻は、人間の発達及び教育に関する高度な専門的研究を進めるとともに、教育現場における諸課題の解決にリーダーシップを発揮できる人間性豊かな教員の養成のための高度な教育・研究を行うことを目的とします。

ポリシー

アドミッションポリシー

- ◎教育に強い関心を持ち、その専門的研究を進めていくための意欲と素養を有している。
- ◎将来、教育の分野において専門の職業人を目指している。
- ◎現場での経験を有する者については、現場での経験を基に、専門的な研究を進める意欲がある。

ディプロマポリシー

- ◎児童・生徒の実態や教育諸問題の理解に必要な教育学および専攻する領域・分野の専門的知識を修得している。
- ◎専攻する領域・分野に関する教育課題について理論的・実践的研究能力を身につけている。
- ◎異文化・多世代の人との協同や、省察的実践の意義を理解することができる。
- ◎自律性をもった専門的職業人として、継続的に理論的・実践的研究に取り組むことができる。

大学院の構成

(修士課程 1専攻5教育領域)

教育科学専攻

学校教育領域

学校教育

特別支援教育領域

特別支援教育

人文・社会系教育領域

国語教育学、国語学、国文学、書道、社会科教育、歴史・思想学、地域科学、英語科教育、英語学、英米文学

理数・生活系教育領域

数学科教育、代数学、幾何学、解析学、応用数学、理科教育、物理学、化学、生物学、地学、技術科教育、技術学、家庭科教育、家政学

芸術・スポーツ系教育領域

音楽科教育、器楽、作曲・指揮法、美術科教育、美術、保健体育科教育、体育・スポーツ学、運動学、学校保健

40歳の学びなおし

三重大学大学院教育学研究科教育科学専攻理数・生活系領域

私は、三重大学教育学部を卒業してすぐ小学校の教員になりました。その後、現在まで17年間小学校の教員を続けています。三重大学教育学部附属小学校で勤務させていただいたことがきっかけで、教員の仕事をしながら三重大学大学院に進学できる機会を頂きました。これからは私のように、大学を卒業してから教育現場を経験し、その後、大学院等で学びを深めていく現職教員は益々増えていくと思います。

大学院での一番の学びは、「教育」の「学び方」を学んだことです。

これまで私は、経験豊かな先輩教員から、「教育」に関する知識や技術を学んできました。そして、それらを子どもたちの前で実践し、1つずつできることを増やしてきました。ちょうど技術を伝承していく仕事の師弟関係に似ているかもしれません。ですから、私は、新しい学校に赴任するとまず、自分が参考にしたい師匠を探していたように思います。

しかし、大学院で学ぶ「教育」は、これまで私がしてきた方法とは異なり、科学的な研究から学びます。先進的な研究を実際に行っている先生方から直接学ぶこともできますし、書物や研究論文などから学ぶこともできます。海外の研究に学ぶことも多いです。大学院での授業では、これらの優れた研究に数多く出会うことができます。

これからも、教員として教壇に立ち続けるためには、「教育」を学び続けていかなければいけないと思っています。そのためには「教育」の「学び方」が重要になってきます。「何を学びたいのか」といった目的意識をもち、身近にいる先輩教員から学ぶだけでなく、優れた研究からも学び、目の前にいる子どもたちに実践しながらその学びを深める、この繰り返しこそ、「教育」の大切な「学び方」なのだと思います。この「学び方」を大学院で習得させていただいたことは、これからも教員を続けていく私にとって、とても大切なものになりました。これからも大学院で学んだ「学び方」を基礎とし、引き続き教壇に立ちながら「教育」を学んでいきたいと思っています。



服部 真一 さん

三重大学教育学部附属
小学校教員

●学位と取得免許

本専攻を修了すると修士(教育学)の学位が授与されます。また、教育職員免許法に定める所定の単位数を修得すれば取得単位に応じた専修免許状の取得資格が得られます。ただし取得には対応する一種免許状をすでに有している必要があります。なお、学部授業を履習することで未取得の教科の免許を追加したり、二種の免許を一種に変更することも一部可能です。

●長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有する等の個人の事情に応じて、柔軟に標準修業年限(2年)を超えて履修し(最大4年間)、学位等を取得できるようにする制度です。本専攻では教育職員免許状取得のために長期履修制度を利用することもできます。この場合は既得の教育職員免許状が一切ない場合でも単位取得に応じた専修免許状まで取得することが可能です。

大学院に進んだ理由

私は学部生の時、統計教育について学んでおり、より実践的な研究がしたいと思い、大学院に進みました。

院生生活・よかったこと

大学院の講義は発表することも多く、準備が大変なこともあります。グループ活動や話し合いながら進めていく授業が多く、いろんな人と意見交換ができて楽しいです。また、日々の研究、学会や研究大会での発表などは、準備など1人でやることが多く、苦しいこともありましたが、修論も書きおわり、2年間を振り返ってみると、とても充実していたなと思います。

学部生の時とは違う大変さもありますが、何事も一生懸命取り組めば、充実した楽しい2年間になると思います。



山田 恵理 さん

三重県立紀南高校教員

大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻

理念・目的

教職実践高度化専攻(教職大学院)は、三重県における喫緊の教育課題に取り組むため、学校を変える推進者としてのスクールリーダー及び将来的に地域教育を支えるミドルリーダーとなる資質・力量のある新人教員を養成することを目的としています。現職教員を対象とする「学校経営力開発コース」と、学部新卒者等を対象とする「教育実践力開発コース」の2コースから構成されており、コース合同で授業を行うことで、現職教員学生と学部新卒学生等が相互に刺激し学び合うことを重視しています。

ポリシー

アドミッションポリシー

- ◎現職教員:学級・学校経営、学習指導方法の開発・改善、生徒指導・教育相談、教育課程、教師教育等における様々な今日的課題を解決するために、確かな指導理論の構築を目指し、より高度な実践力と応用力を身につけたい教員。特に、学校現場での経験に基づき、教職大学院での明確な研修テーマや課題を持ち、それらを協働で解決し、学校や地域において指導的役割(スクールリーダー)として将来活躍できる教員。
- ◎学部新卒者等:大学院修了後、学校教員を目指し、学級・学校経営、学習指導方法の開発・改善、生徒指導・教育相談、教育課程、教師教育等における様々な今日的課題に強い関心があり、学校現場での実習や現職教員学生との協働により、教職に関する実践的な専門性や高度な実践力を身につけたい人。
- ◎特に、次の3点を入学者に求めています。
【探究】学校・地域の教育課題をより広い視野で探究できる人
【協働】より柔軟な発想で協働的に学び続けることができる人
【創造】地域の教育の未来を創造することに強い思いを有している人

ディプロマポリシー

- ◎児童・生徒の実態や教育諸問題の理解に必要な専門的知識を修得している。
- ◎専攻する領域・分野に関する教育課題について理論的・実践的な研究能力を身につけている。
- ◎異文化・多世代の人との協同や、省察的実践の意義を理解することができる。
- ◎高度専門職業人として、継続的に理論的・実践的研究に取り組むことができる。

大学院の構成

(専門職学位課程 1専攻2コース)

教職実践高度化専攻

学校経営力開発コース

現職教員を対象として、専門的知識や技能を学んで三重県教育課題に取り組む学校を変える推進者となるスクールリーダーを養成します。

教育実践力開発コース

小中高の一種免許状を有する学部新卒者等を対象として、実践的な指導力・展開力を備え、将来ミドルリーダーとなる新人教員を養成します。(三重県の教員採用選考試験に合格して採用候補者名簿への登載を2年間猶予された者を含む)

●学位と取得免許

本専攻を修了すると教職修士(専門職)の学位が授与されます。また、教育職員免許法に定める所定の単位数を取得すれば取得単位に応じた専修免許状の取得資格が得られます。ただし取得には対応する一種免許状をすでに有している必要があります。

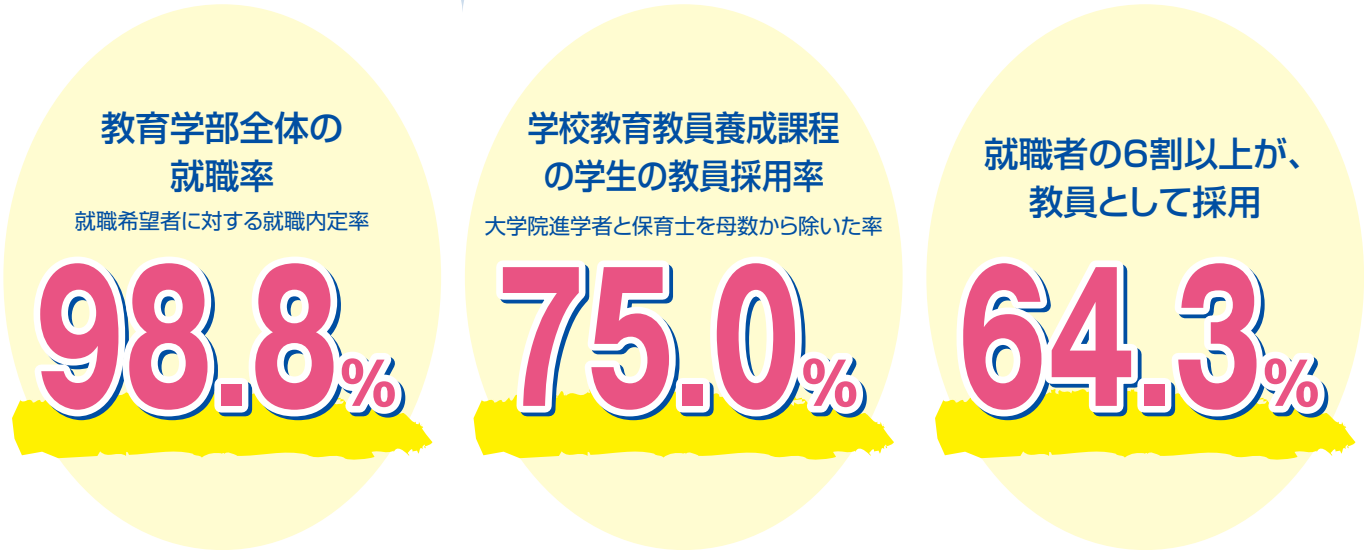
就職

優れた就職実績

近年、全国的に教員採用数が増えてきています。講師への需要も高く、卒業生も教育の現場での就職が可能で、教員免許が必修の学校教育教員養成課程の学生はほとんどが教員となっています。

教員以外では公務員や一般企業への内定が決まり、教育学部全体で見るとほぼ全学生が就職しています。

平成28年度(平成29年3月卒業)卒業生データ

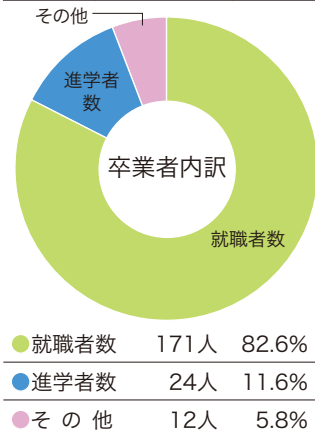


過去の就職先一覧

- 三重県立公立学校
- 愛知県立公立学校
- 名古屋市公立学校
- 他府県公立学校
- 市町立幼稚園
- 市町立保育園
- 私立学校
- 三重県庁
- 三重県内市役所
- 国税庁
- 三重大学
- 三重県厚生農業協同組合連合会
- 和歌山県警察
- 株式会社百五銀行
- 西日本電信電話株式会社
- 三井住友海上火災保険株式会社
- 三井不動産レジデンシャル株式会社
- 近畿日本鉄道株式会社
- 住友電装株式会社
- 株式会社螢雪ゼミナール 他

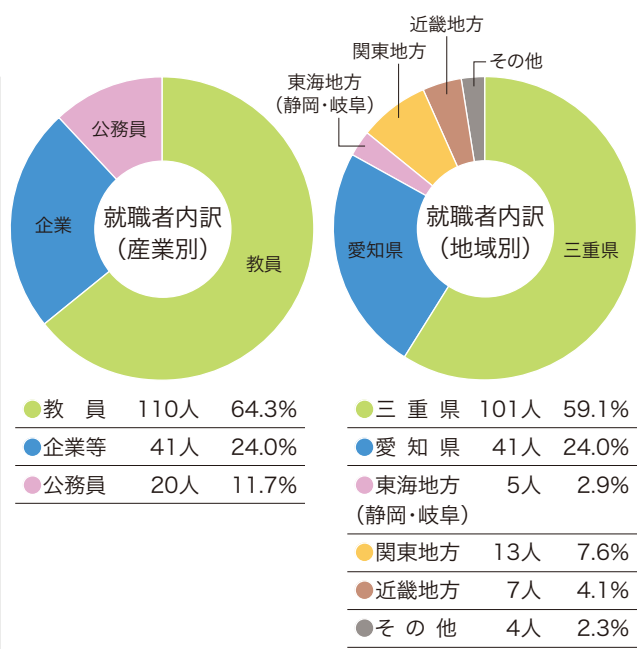
平成28年度(平成29年3月卒業)卒業者の就職状況

卒業生		207
卒業生内訳	就職者数	171
	進学者数	24
	その他	12
	計	207



平成28年度(平成29年3月卒業)就職者の産業別就職状況

産業別内訳	人数
農・林・魚・鉱業	0
建設業	0
製造業	5
電気・ガス・水道業	0
情報通信業	5
運輸業・郵便業	3
卸売・小売業	3
金融・保険業	4
不動産業	1
飲食店・宿泊業	1
医療・福祉(医師を除く)	4
教育・学習支援(教員を除く)	8
複合サービス業	0
サービス業	4
公務員	20
教員	110
技術サービス業	0
娯楽業	3
その他	0
計	171



Questions & Answers

Q & A

受験について

Q. 出願時に、コース間での併願はできますか？

A. 基本的にはできません。しかし、コースによっては、条件があったり受験科目が違ったりすることもあります。できないところもあるため、入試要項をよく読んで、出願してください。

Q. 三重大学教育学部について知ることができるものは、学部案内のほかに何がありますか？

A. 主に2つあります。1つ目は、直接話を聞いたり、見学ができたりする、8月に行われる教育学部のオープンキャンパスです。全体で教育学部についての話を聞いた後、各コースに分かれて説明や模擬授業が行われるため、それぞれのコースについても詳しく知ることができます。2つ目は三重大学や教育学部のホームページです。入試情報ははじめ、教員紹介や附属学校園について紹介されています。コースによっては、独自にホームページを立ち上げているところもあるので、検索してみてください。さらに、大学祭などの行事に参加した時には、学生や先生方に気軽に声をかけてみるのも一つです。

学生生活について

Q. 他コースの人との交流や教員との関係はどうですか？

A. 教育学部では、グループで協力する授業や教育実習もあり、自分のコースを超えて様々な人との交流があり、とても仲良くなれます。また、教員に対する学生数も少ないので教員との関係もふかく、より専門的な指導や相談などを行うことができます。

就職について

Q. 教員採用試験対策はありますか？

A. あります。本学部には校長経験者からなる教職支援センター・教員養成支援部門があり、教員採用試験対策セミナーとして、面接練習(個人、集団)や小学校実技練習、教職教養・小学校専門DVD講座、学内模試等を行っております。詳しくは<http://www.edu.mie-u.ac.jp/education/teaching-pr/index.html> をご覧ください。

教育について

Q. 教育学部ではどのような免許がとれますか？

A. 幼稚園、小学校、中学校、高校、特別支援学校の免許が取れます。教員免許の中で複数教科(国語と社会など)を取得することも可能ですが、その分必要な単位数が増えますので、教科によっては時間割や実習などの都合で物理的に履修が不可能な場合があります。教員免許の他には、学芸員や学校図書館司書教諭の資格も取ることができます。

Q. 子どもと接する機会はどれくらいありますか？

A. 代表的なものとしては教育実習があります。そのほかにも、実践的な授業を受講することやボランティアに参加することなどによって1年生から卒業に至るまで多くの場面で子どもたちと接する機会があります。

Q. 教育学部で留学することはできますか？

A. もちろんです！教育学部が主催している海外教育研修のほか、協定を結んでいる学部間・大学間の交換留学があります。また、生協では留学プランを多数扱っています。留学は費用もかかりますし、期間についても1ヶ月程度の短期留学から半年・1年にわたる長期留学まで様々あるので、単位取得との兼ね合いを考えながら計画を立てることをお勧めします。

Q. 小学校の免許を取りたい場合、学校教育コースに入らないといけませんか？

A. 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・ものづくり、家政、英語の各コースに初等教育選修がありますので、こちらを選んで小学校の免許が取れます。深く学びたい教科があるならこちらを選んでいいと思います。(この方が、その教科の中学校免許も取りやすくなります)。また、教科の初等教育選修では、専門的なことも学べますので、「絵の上手な先生」「算数の得意な先生」など、「何かに自信を持っている先生」になれるかもしれません。もし、特定の教科にこだわらず、「教えること」を学びたい、もしくは「学校での子供の心理的なこと」を学びたいなら学校教育コース(教育学専攻、教育心理学専攻)を選ぶといいと思います。こちらを選ぶと「学校現場の問題を、教育学を通して解決できる先生」「子どもの問題を、心理学的側面から支援できる先生」などになれるのではないのでしょうか。※上記以外のコースでも、副免許として小学校の免許を取ることが可能です。詳しくは三重大学に直接お尋ねください。

Q. 中等教育選修を目指していますが初等教育選修に入学しても中学校教員の免許が取得できますか？

A. 初等教育選修で合格された場合でも、中学校教員免許の取得は本人の努力によって可能です。入学された大多数の学生は、自分の所属するコースで小学校・中学校・さらには高校などの複数校種の免許を取得して卒業します。

Q. 高校の教員免許を取得するにはどうしたらよいですか？

A. 本学では中等教育選修で学修されると、卒業と同時に中学校免許が取得できるようにカリキュラムが組まれています。高校教員の免許は、同じ教科であれば中学校教員免許に必要な単位数に、さらに8単位を加えれば取得が可能です。卒業に必ずしも必要ではない単位取得については、開講時間により計画通りに時間割が組めない可能性もあり、その点は工夫と努力が必要になります。なお、初等教育選修に入学された場合でも、必要な授業数はさらに増えますが上述のような工夫と努力次第で取得は可能となります。

教育学部の入試に関しては以下のページをご覧ください。

<http://www.edu.mie-u.ac.jp/exam/fc/index.html>

コース別の進路状況

過去3年間

※各コースの専門性等に基づき、本表の表記や内訳は厳密に統一されてはおりません。

コース		年度(卒業生)	内 訳
学校教育教員養成課程	国語教育コース	29年度(12名)	教諭9名(小学校7名、中学校2名)、講師1名(小学校1名)、企業1名、大学院進学1名
		28年度(13名)	教諭8名(小学校3名、中学校4名、高校1名)、講師2名(小学校1名、私立高校1名)、企業1名、大学院進学2名
		27年度(13名)	教諭9名(小学校4名、中学校4名、高校1名)、講師2名(中学校2名)、公務員2名
	社会科教育コース	29年度(14名)	教諭8名(小学校8名)、講師1名、公務員3名、大学院進学2名
		28年度(12名)	教諭3名(小学校3名)、講師2名、公務員3名、大学院など進学3名
		27年度(7 名)	教諭3名(小学校3名)、講師2名、企業1名、大学院進学1名
	数学教育・ 情報教育コース 数学教育専攻	29年度(20名)	教諭11名(小学校8名、中学校1名、高校1名、私立学校1名)、講師3名(小学校1名、中学校1名、高校1名)、企業2名、大学院進学4名
		28年度(13名)	教諭7名(小学校1名、中学校6名)、講師1名(高校)、民間企業2名、大学院進学3名
		27年度(13名)	教諭3名(小学校2名、中学校1名)、講師5名(中学校3名、高校2名)、地方公務員1名、学校職員1名、企業1名、大学院進学2名
	数学教育・ 情報教育コース 情報教育専攻	29年度(11名)	教諭4名(小学校1名、中学校3名)、講師2名(中学校1名・高校1名)、企業4名、公務員1名
		28年度(22名)	教諭12名(小学校6名、中学校6名)、講師2名(中学校1名、高校1名)、企業5名、大学院進学1名、公務員1名、その他1名
		27年度(16名)	教諭1名(中学校1名)、講師2名(中学校2名)、企業7名、公務員3名、大学院進学3名
	理科教育コース	29年度(18名)	教諭12名(小学校5名、中学校6名、私立学校1名)、講師2名(小学校1名、高校1名)、大学院進学2名、公務員1名、その他1名
		28年度(16名)	教諭8名(小学校2名、中学校5名、高校1名)、講師3名(中学校1名、高校2名)、企業1名、大学院進学4名
		27年度(15名)	教諭4名(小学校1名、中学校3名)、講師2名(中学校1名、私立学校1名)、公務員1名、大学院進学7名、その他1名
	音楽教育コース	29年度(7 名)	教諭2名(小学校2名)、講師2名(小学校1名、中学校1名)、企業2名、その他1名
		28年度(8 名)	教諭4名(小学校3名、幼稚園1名)、講師3名(小学校1名、特別支援学校2名)、公務員1名
		27年度(8 名)	教諭4名(小学校4名)、講師2名(小学校1名、幼稚園1名)、大学院進学1名、その他1名
	美術教育コース	29年度(8 名)	企業6名、大学院進学2名
		28年度(9 名)	講師3名(小学校1名、中学校2名)、企業4名、大学院進学2名
		27年度(9 名)	教諭2名(小学校2名)、講師2名(中学校1名、特別支援学校1名)、企業2名

コース別の進路状況

コース		年度(卒業生)	内 訳
学校教育教員養成課程	保健体育コース	29年度(18名)	教諭10名(小学校10名)、講師1名(中学校)、進学2名、公務員4名(市役所1名、消防1名、三重大職員2名)、企業1名
		28年度(18名)	教諭8名(小学校4名、中学校2名、高校1名、幼稚園1名)、講師4名(小学校2名、中学校2名)、進学1名、公務員2名(市役所1名、三重大職員1名)、企業3名
		27年度(21名)	教諭6名(小学校6名)、講師4名(小学校3名、中学校1名)、進学1名、公務員6名、企業2名、その他2名
	技術・ものづくり 教育コース	29年度(9 名)	教諭5名(小学校4名、中学校1名)、講師3名(小学校2名、中学校1名)、進学1名
		28年度(9 名)	教諭2名(中学校2名)、講師3名(小学校1名、中学校1名、教育施設1名)、企業1名、大学院進学1名、その他2名
		27年度(7 名)	教諭3名(小学校3名)、講師1名(小学校1名)、企業3名(メーカー2名、福祉1名)
	家政教育コース	29年度(12名)	教諭2名(小学校2名)、講師4名(小学校2名、中学校2名)、企業5名、大学院1名
		28年度(3 名)	教諭2名(小学校2名)、公務員1名
		27年度(7 名)	教諭4名(小学校2名、中学・高等学校1名、特別支援学校1名)、公務員1名、企業1名、その他1名
	英語教育コース	29年度(12名)	教諭7名(小学校3名、中学校4名)、講師2名(小学校2名)、公務員1名、企業2名
		28年度(13名)	教諭7名(小学校3名、中学校4名)、講師3名(小学校1名、中学校2名)、大学院進学1名、企業1名、私費海外留学1名
		27年度(22名)	教諭6名(小学校2名、中学校3名、高校1名)、講師5名、公務員1名、その他6名(内3名は留学により卒業延期)
	特別支援教育コース	29年度(16名)	教諭8名(小学校6名、特別支援学校2名)、講師3名、公務員1名、一般就労4名
		28年度(12名)	教諭7名(小学校5名、特別支援学校2名)、講師4名、一般就労1名
		27年度(12名)	教諭6名(小学校6名)、講師2名、一般就労4名
	幼児教育コース	29年度(12名)	公立保育園8名(うち、1名非正規)、公立小学校1名、企業等2名、未定1名
		28年度(11名)	公立保育園9名(うち、1名非正規)、私立保育園1名、国立大学法人附属幼稚園1名
		27年度(11名)	公立保育園5名、公立幼稚園1名、公立幼保一体化型施設1名、私立幼稚園1名、企業2名、地方公務員1名 (全員正規職員)
	学校教育コース	29年度(19名)	教諭(小学校)10名、講師(小学校)1名、公立幼稚園教諭1名、公務員3名、企業3名、大学院進学1名
		28年度(10名)	教諭3名、講師4名、企業1名、大学院進学2名
		27年度(11名)	教諭8名(小学校7名、幼稚園1名)、常勤講師1名(小学校1名)、公務員1名、進学1名

活躍する卒業生の声

活躍する卒業生の声



稲垣 友裕 さん
保健体育コース 2013年卒業

三重大学
教育学部附属中学校 勤務

● 仕事の内容 ●
学級指導、保健体育科の授業、
教育実習生指導 など

Q. 所属したコースを選んだ理由を
教えてください。

A. 高校の部活動で主将を務めていました。部員をまとめていくなかで、集団を動かすことのおもしろさに気づきました。部活動の顧問の先生の勧めもあり、保健体育の教員を目指したいと考えようになりました。

Q. 大学での一番の思い出は何ですか？

A. 二年次に履修した「保健体育科教育法」という授業です。今まで「受ける側」としてしか見ていなかった体育の授業について、授業を「する側」の視点で初めて考える機会になり、とても衝撃的でした。

Q. 社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A. 授業の一環で、実際に教育現場を参観させていただく機会も多く、教員になる前から教育現場の実態を知ることができたことだと思います。その経験は実際に教員になった際にとても役に立ちました。

Q. 高校生へのエールを一言お願いします。

A. 大学の学部の選択は、将来の職業選択に大きな影響を与える重要なものだと思います。自分の将来をしっかり見据えて、素敵な大学生活を送ってほしいと思います。応援しています。



小林 慎 さん
特別支援教育コース 2013年卒業

三重県立特別支援学校
北勢きらら学園 勤務

● 仕事の内容 ●
授業、学級指導 など

Q. 所属したコースを選んだ理由を
教えてください。

A. 高校時代に、漠然と「福祉に携わる仕事がしたい」と考えていました。そして、私は障がいがある子どもたちとかかわったことがほとんどなかったのが、勉強したいと思って選びました。教員になろうと思ったのは教育実習からでした。

Q. 大学での一番の思い出は何ですか？

A. 特別支援教育コースの学生が運営している、「つくしんぼサークル」の活動がとても楽しく、充実していました。障がいがある方々といっしょに活動を楽しみながら、今の仕事につながる大切なことをたくさん学ぶことができました。

Q. 社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A. 専門的な障がいに関する知識に加え、障がいがある方の体験談を聞く機会がある等、様々な角度から障がいについて考えられたことです。特別支援学校で働く姿勢の基礎になっていると思います。

Q. 高校生へのエールを一言お願いします。

A. 私は初め教員になるつもりはありませんでした。しかし、在学中の学びや出会いがきっかけになり、特別支援学校で働きたいと思いました。大学では人生を大きく変えるきっかけに溢れています。多くの選択肢を前に迷うことがあっても、興味のあることや好きなことを大切に前向きに進んでいってください。



庄山 大樹 さん
英語教育コース 2012年卒業

津市立芸濃中学校 勤務

● 仕事の内容 ●
授業、学級指導、部活指導 など

Q. 所属したコースを選んだ理由を
教えてください。

A. 中学生の時から、英語の先生になりたいと思っていました。そして地元である三重県の教員として働きたいとも思っていたので、教員採用試験対策が手厚く、英語の勉強もできる英語教育コースを選びました。

Q. 大学での一番の思い出は何ですか？

A. アメリカ・シアトルでの短期語学研修に参加したことです。英語の勉強ももちろんですが、人生においても大切なことが学べました。

Q. 社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A. 教育学部の授業で身に付けたコミュニケーション能力は、生徒指導や保護者対応、そして職員間での情報交換などあらゆる場面で役立っています。相手の立場になって話を聞き、自分の思いを伝える力はどんな職業でも重宝すると思います。

Q. 高校生へのエールを一言お願いします。

A. 三重の学校現場には、三重大教育学部の先輩がたくさんいます。「君は何期？」という一言で自然と打ち解けられます。そんな伝統ある教育学部で勉強し、自分の夢を叶えてみてはどうでしょうか。



伊藤 加織 さん
音楽教育コース 2008年卒業

セントヨゼフ女子学園
高等学校・中学校 勤務

● 仕事の内容 ●
音楽の授業、クラブ指導（合唱部）、
学年副担任、学校行事の企画・運営

Q. 所属したコースを選んだ理由を
教えてください。

A. 将来は何かしら音楽にかかわる仕事がしたいと漠然と思っており、音楽だけに特化するのではなく様々なことを学びたかったので、このコースを選びました。

Q. 大学での一番の思い出は何ですか？

A. たくさんあって一つには絞れません。6年間の中で「音楽」を通して人とつながる経験をたくさんさせていただいたことが、最大の思い出であり、今の私の糧です。

Q. 社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A. 音楽の面では、ソロとしてのピアノ以外に、伴奏、作曲、合唱、アンサンブルなど多角的に学び、色々な音楽に触れられたこと。また、自分たちの手で一から創りあげた「ファイナルコンサート」で得たノウハウは、現在の学校行事の運営などに役立っています。教育の面では、教育実習はもちろんですが、院生のときに「教育実地研究基礎」のチューターとして現場の先生と密接に関わらせていただいたことで、教師という仕事がぐっと身近になりました。

Q. 高校生へのエールを一言お願いします。

A. 私が「教師になる!」としっかり決めたのは、大学3年生の冬頃です。学びたいことや将来目指す姿がハッキリしている人もそうでない人も、色々なことに興味を持ち、何事にも貪欲にトライしてください。そこからきっと何かが見えてきます!これから皆さんの歩む道が充実したものになるよう、心から応援しています。



小野 佑子 さん
幼児教育コース 2009年卒業

津市立芸濃保育園 勤務

● 仕事の内容 ●
クラス担当

Q. 所属したコースを選んだ理由を
教えてください。

A. 自分を育ててもらった地元で幼稚園教諭になりたいと思い、地元三重に根ざす三重大学を希望していました。オープンキャンパスに訪れ、幼児教育コースの先生の魅力的な授業を体験し、入学の思いは強くなりました。

Q. 大学での一番の思い出は何ですか？

A. 同期と一緒に校舎裏に畑を作り、野菜を収穫したり、焼き芋をしたりしました。学生時代は自分たちがしたいと思ったことをどんどんと実行に移していける楽しさがありました。

Q. 社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A. 豊かな保育実践を展開している園での実地研究が多く、教授やそこで働く保育者の保育への熱い思いや考え方を学ぶことが出来ました。その学びが教師としての子どもの見方・教育に対する考え方・実践の仕方の軸として活きています。

Q. 高校生へのエールを一言お願いします。

A. 大学での素敵な出会い・貴重な体験は、私の人生を彩るものとなりました。皆さんも大学でどのような人・出来事に会えるか、期待に胸を膨らませながら、今できることを精一杯頑張ってください。



牛久 祥聡 さん
数学教育コース 2013年卒業 大学院修了

尾鷲高校 勤務

● 仕事の内容 ●
授業、部活（指導、運営）、学校運営 など

Q. 所属したコースを選んだ理由を
教えてください。

A. 小学生のころから教員になりたいという夢がありました。高校の進路選択の時には物理の教員になるために他の大学を志望していたのですが、前期で第一志望の大学に落ち、三重県で教員をするならと後期で三重大学数学科に進学することにしました。今では数学科に進学して良かったと思います。

Q. 大学での一番の思い出は何ですか？

A. 学科の同期や先輩との旅行や、学祭で屋台をやったことです。今でも同期や先輩・後輩とは交流があり、みんなで集まって飲み会をしています。

Q. 社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A. 教育実習で小学校、中学校に行って学んだことの全てです。私は高校で教員をしています。子どもが見やすいように必死に練習した板書や、わかりやすく伝わるようにと表現方法を考えていることが今の自分のベースになっていると思います。

Q. 高校生へのエールを一言お願いします。

A. 教員というのは子どもたちの将来に関わっていくことのできる素晴らしい職業です。その分、責任や大変なこともあります。けれども、毎日が楽しいです。皆さんも自分の夢に向かって一生懸命遊び、勉強してください。



西村 有加里 さん
家政教育コース 2008年卒業

津市立北立誠小学校 勤務

● 仕事の内容 ●
授業、学級指導 など

Q. 所属したコースを選んだ理由を
教えてください。

A. 家庭科が好きで、その学習や日々の生活を通して、食生活や健康などの視点からよりよい生活をおくるといことについて興味を持ちました。そこで、幅広い分野から『生活』にアプローチをし、学んでいくことができる家政教育コースを選びました。

Q. 大学での一番の思い出は何ですか？

A. フレンドシップ事業（子どもたちを対象とした料理教室）や科学の祭典に参加したことです。子どもたちの笑顔を見られることがやりがいでした。食に関する知識を楽しく学んでもらえるように、2年生の時に同期の仲間とつくりあげたフレンドシップ事業は、一番の思い出です。

Q. 社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A. 家庭科だけではなく、さまざまな教科や領域を専門とされる先生方の講義を受けることができたことは、小学校で教師をしている今、活かされていると思います。また、調理実習、食物学実験などの家政コースの授業では、知識を得るだけではなく、段取りを考えることの大切さも学びました。

Q. 高校生へのエールを一言お願いします。

A. 教育学部には、教師という夢を志している仲間やその夢を応援してくれる先生方がたくさんいます。仲間からよい刺激を受けながら、成長していける場所です。自分たちの夢を叶えるため、その夢に近づき一歩をふみだしてみてください!応援しています!



坂倉 伊織 さん
学校教育コース 2009年卒業

鈴鹿市立清和小学校 勤務

● 仕事の内容 ●
授業、学級指導 など

Q. 所属したコースを選んだ理由を
教えてください。

A. 昔から、地元の大学に行くことと小学校の教員になることを目指していました。その二つを実現するためにベストなコースが小学校の免許の取得が必須である学校教育コースでした。

Q. 大学での一番の思い出は何ですか？

A. 卒業論文の発表会の前日です。ポスターセッションだったのですが、互いの発表の方法に意見を出し合う真面目な時間があって、どうでもいいような小道具作りに時間をかける楽しいこともあったりとメリハリをつけた時間を過ごせたことが思い出に残っています。

Q. 社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A. 講義において教育の最先端の情報を学習できることと教育実習や実地研究などで実際の子どものとちと学習できることという二つの側面で勉強できたことが実際の教育現場でもとても役にたっています。

Q. 高校生へのエールを一言お願いします。

A. なんでもいいので夢や目標を持って大学生活を送ってほしいです。そうすることでその時に必要な情報をうまくキャッチできたり、良い出会いがあったりします。チャンスを見逃さないように頑張ってください。

アクセス&キャンパスマップ



教育学部校舎



A 専門校舎1号館



B 専門校舎2号館



D 音楽棟



E 美術棟



① 教養教育校舎
全学部向けの教養教育が行われています。

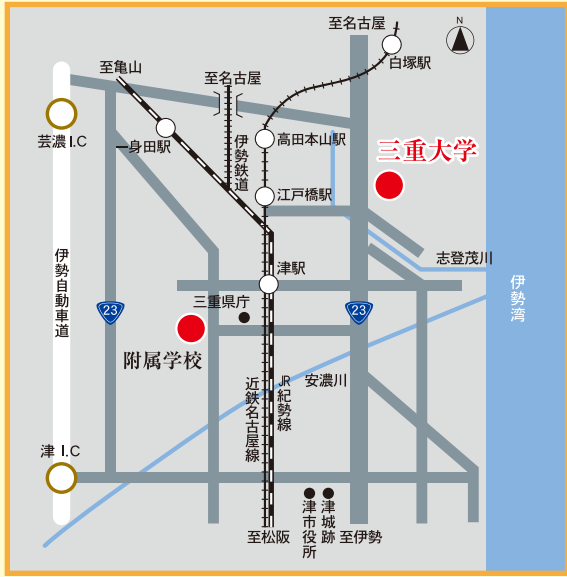


② 図書館
90万冊に上る図書・雑誌を所蔵。オンラインジャーナルも充実し、学生の教育・研究活動を応援します。



③ 三翠ホール(講堂)
1650名を収容でき、入学式や学位授与式など全学的な式典・行事、全国的な学会や講演会が開催できる多目的ホールです。

三重大学周辺MAP



交通案内

徒歩

近鉄江戸橋駅から徒歩で15分

バス・タクシー

津駅前バスのりば「4番」から三交バス「白塚駅」「千里駅」「三重病院」「棕本」「豊里ネオポリス」「サイエンスシティ」「高田高校前」「三行」行きで「三重大学前」下車。津駅からタクシーで約10分

電車

近鉄急行
名古屋 — 江戸橋 約60分

近鉄特急
名古屋 — 津 約50分

難波 — 津 約90分

京都 — 津 約120分

(津駅で急行または普通に乗り換え)

津 — 江戸橋 約2分



その他

津エアポートライン(高速船)

中部国際空港(セントレア) — 津なぎさまち 40分

1.三交バスで「津なぎさまち」から「津駅前」まで約15分、

「津駅前」乗り換え「三重大学前」まで約10分

2.タクシーで津なぎさまちから津駅まで約10分、

三重大学まで約15分

【表紙のタイトル】

フクロウ養成学校

【コンセプト】

良い先生になるべく頑張る教育学部の生徒と、良きミネルヴァのフクロウになるためにがんばるフクロウを重ねて描きました。